

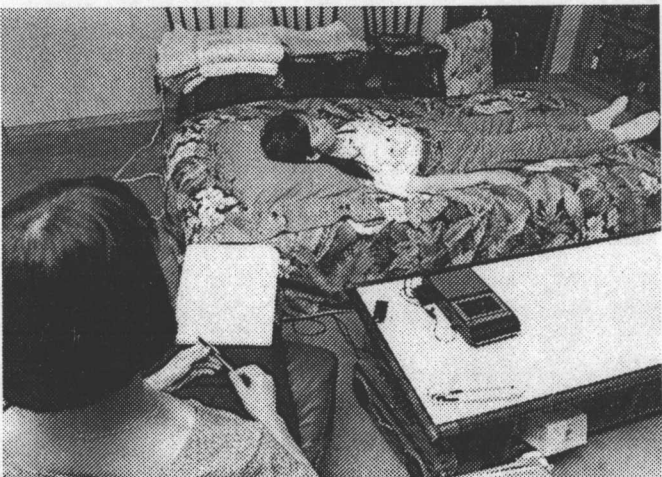
魂は永遠で、肉体は死んでも再び生まれ変わるという輪廻転生（りんねてんじょう）。生き方に悩む若者に「前世から治療する」という話を聞いて記者は飛んで行った。あるのか、ないのか分からぬ、前世などというものが、はたして治療の対象になるのだろうか。

千葉市内の静かな住宅地の一角にある、薄暗い八畳ほどの部屋。潮騒の音楽が流れている。普段着のまま恵子さん（三三）仮名Ⅱがベッドに横たわっている。目を閉じ、深く呼吸している。

「タイムトンネルを抜けると、そこは十八世紀のイタリヤ。黒髪の女の子が石畳を歩いている。イタリヤ人だけど、それは私なんです」。口を吐いて出るのは夢物語のような世界。

バレリーナ志望で「前世退行催眠療法」を受け

世紀末の神サマ²



催眠状態で「前世」の物語をつくりだす「患者」＝千葉市内で

療」といふ名の励ました。

「前世はお姫さまで、意識不明になると、前世がのぞける」と徳島市内で女子小中学生三人が鎮痛解熱剤を飲んで病院に運ばれる事件が起きたのは三年前の夏。転生や超能力を描いたSF小説や漫画で育った世代にとっては、前世という「異界」への違和感は希薄。桜井さんの治療室には年間約三百人の若者がやって来るといふ。

潜在能力開発のために前世療法を受けた和彦さん（三三）仮名Ⅱはいう。「前世は本当じゃなくてもいいけど、自分がなぜこの人生を選んだのか確信をもてれば、それでいい」。退屈そうな現世とは違

ぞいている。「イメージを紡いでいこうちに「前世」が現れたらしい。

バレエ教室のぞいたことでイタリヤの女の子が石畳を歩いたが、右

「異界」体験で傷いやす

足首を骨折、踊れなくなつた。渡仏してトーションズのデザイナーになつたが、母の急死を機に帰国して結婚。バレエ教室を開いた。つかの間の幸福。しかし、夫は四十代の若さで死に、彼女も愛犬と共に死を迎えた。

記者には、荒唐無稽むけいな妄想にも思える。だが、恵子さんの現世と重なり合うという。

三歳のころ、テレビの「白鳥の湖」を吸い込まれるように見た。親の反

体が思うように動かない。股（こ）関節脱ぎゅう。それでも、踊りを続けたい……。

恵子さんは前世の自分と語りあった。

「前世ではバレエをあまりめめた。その悔いが自分に影響を与えている。

けることに確信を持てた。

仏教などという前世が現世に報いる因果応報とは違って、前世療法で求められるのは「あなたは価値のある存在だ」という自己肯定のメッセージ。一時間一万元的。治

って、前世の人生は劇的だ。前世につくりあげた「物語」で自分を支えようとする若者たち。豊かな社会という「羊水」に浮かびながら、「異界」を元氣のもとにしているようにみえる。

前世の声

ている最中だ。七〇年代に米国で開発された精神療法の一つ。軽い催眠状態のまま過去に体験した意識を呼び起こし、前世を再体験して精神の傷を治すという。

「女の子は何をしてい

るの」。まへら元で催眠療法家、桜井ゆみさん（三三）が語りかけると、「道に迷い、バレエ教室をの

日本がみえませんでした

宗教ホットライン 宗教ホットライン ご注意や情報をお寄せください。〒5500 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教研習班。06・3488・8800（11時～13時、17～20時）、ファクス06・3488・8822。

「UFOは実在するか」をめぐって日本人は肯定三四・二%、否定三四・五%とほぼ同数(一九八八年、総理府調査)だといふ。だが、「UFOを信仰するか」と言ったら、多くの人はちよつと戸惑うだろう。

八月六日、祈りの列が続く広島平和記念公園。「UFO教」といわれる「ラエリアン・ムーブメント」のメンバー、檀上佐代里さん(三)滋賀県は汗だくでビデオ上映会の案内ビラを配っていた。「平和な社会をつくり、地球人を作った異星人を迎えよう」

フランス人、ラエル氏(四)が創始したラエリアンの日本支部は一九八〇年に発足。若者を中心に約三千人の会員がいる。集まったのは、会員約三十人と、ビラに誘われた米国の学生ら約二十人。らうそくを一斉に吹き消すと、クラッカーと

UFO教

歓声がはじけた。「新年おめでとう」。檀上さんがあいさつしあった。ラエル氏によると、原爆投下のこの日は、人類が高度で危険な科学力を手に入れ、異星人の「真実の啓示」を理解できるようになった。ラエル元年。だから「おめでとう」だ。

ビデオ画面の中で七三

世紀末の神サマ



UFOに「登録」する儀式をするラエリアンの会員たち。広島市内で

年に異星人と接触したというラエル氏が語る。だが、一般の人にとっては理解を超えた論理。上映途中、会員以外の参加者は次々に退席した。

ノアの方舟はUFOなんだ」と涙が止まらなかつたという。受験勉強にムの子供で、マリアが如く疑問を抱き、半年間、授

業に出すに考え込んだとされた。「信じるというより理解できた、という感じ。それに人間は自由に生きなければと勇気がわいた」。ラエル氏は愛や性の自由にも肯定的だ。しかし、青い空にUFOは見えない。「遊び」と「現実」、「合理」と「非合理」が奇妙に交錯した不思議な光景。若者にとって宗教とはなんだろう。疑問が膨らんだ。(つづく)

心とらえる「異星人」

檀上さんはいう。「原爆をこの日だけ思い出し

ても平和になるかしら。それより毎日を楽しんで、攻撃的な心をなくし、異星人・エロヒムを迎える方が平和になる」

神や靈魂を否定し、科学を駆使したラエル氏の「宇宙の説明書」。その魅力は「科学ですべてを理解できること」と大

学理学部四年、猪野和住さん(三)。「大洪水で全滅した時、動物たちのDNAをUFOに残した。

日本がみえますが

宗教ホットライン ご注意や情報をお寄せください。〒530 大阪府北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・348・88000(11時~13時、17~20時)、ファクス06・348・03322。

それはちょっと風変わりな講演会だった。炎天下の大阪で開かれた公開チャネリングに、記者も参加した。演壇のイスに座ったチャネラー（霊媒師）がめい想を始めると、次第に顔が赤らんだ。「ウツ」。軽くうめいて一段高い声に。

「私はヨカル」
ヨカルは古代、大西洋に沈んだとされる幻の大陸、アトランティスの学者兼司祭。チャネラーのモーガンさん（西もが一九八五年、自動車事故にあったのを機にヨカルと交信を始めたそう。参加者は二、三十代の女性が目立つ。

「宇宙の意識」や前世に意識のチャンネルを合わせ、そのメッセージを受け取るチャネリング。恐山（青森県）の霊媒師、イタコが宇宙と交信しているようなものだが、あの劇的な変化や、オドロオドロしさはない。記者

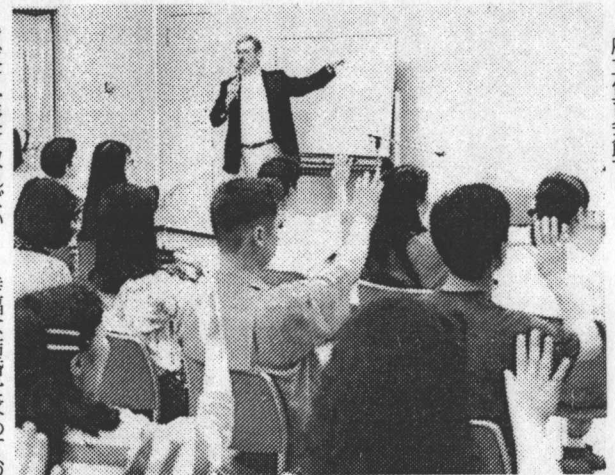
チャネリング

が見たのは、都市型の明るい「霊言パフォーマン」だ。

「ヨカル。自分を勇気づけるにはどうしたらいいの」。歳の娘を親に預けて東京から駆けつけた、あや子さん（三〇）
「仮名」が尋ねる。

ヨカルが答える。「あなたの「気」を高め、自分で自分を刺激し、忍耐

世紀末の神サマ



「手のひらから出ている「気」が見える？」
幻の古代人とチャネリングする参加者―大阪府立体育会館で

力を開発して下さい」
「自分を変えないと爆発する感じだった」とあや子さん。大学時代、弟は非行に走っているのに、母は旅行に出かけ、

「一室。京都の会社員、大阪市内のマンションに。」「自

チャネリングという言葉は新鮮だが、つまるところ「自分が選んだ道をきちんと進んでいるか」と問いかげ、内心からわき上がってくる「イキキキワクワクと生きよ」との声を聞き取る。幻の古代人や異星人が出てこなければ、道徳の教科書にもあるような人生訓とあまり違わない。
「昭子さんはいや。」「宗教団体はいや。でも、精神的に何か欠けている感じ。みんな、自分の中にある「神」の声を聞きたくないじゃないかしら」
自分の内なる声としての「霊言」。それは「天のお告げ」ではなく、新しいスタイルの自己啓発なのか。教祖、教団に縛られずに、「神サマ」に

宇宙からのメッセージ

浮気もしていた。卒業後、家族が次々に病気になる。看病に追われた。「何でこんな家庭に生まれたのか。自分を産んだ母を許せなかった。壁にぶつかっていた」

昭子さん（三三）
「大きな鏡台の前に座るチャネラー、清島久門と長い髪を切った。「学歴や収入の高い男性を見つけた、そのお手伝いさんになるのはいや」。カラ

近づく「宇宙時代の回路」と、記者は思えた。
「神々」へのアクセス料は、三時間コースが八千五百円、一日コースは一万九千円。ヨカールの個人チャネリングは六万円だという。

ヨカルは「病気でさえ受け入れ愛して治す」と語る。「そうか、受け入れればいいのか」。あやさんが何でも受け入れる気持ちになると、親への憎しみもふっきた。参加者は、神秘的な世界からの好きなメッセ

日本がみえまほした

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3480・8800（11時～13時、17～20時）、ファクス06・3480・9002。

東京都練馬区の貸しビル内にある「三種の家やかた」。記者が訪ねると、神霊治療する神殿で、テレビ局のスタッフが待機していた。「この前、北海道の逆子を遠隔治療で治したの。三種先生ならではの技だよね」。三種希祐月（みほ・きゅうげつ）さんがにぎやかに現れた。

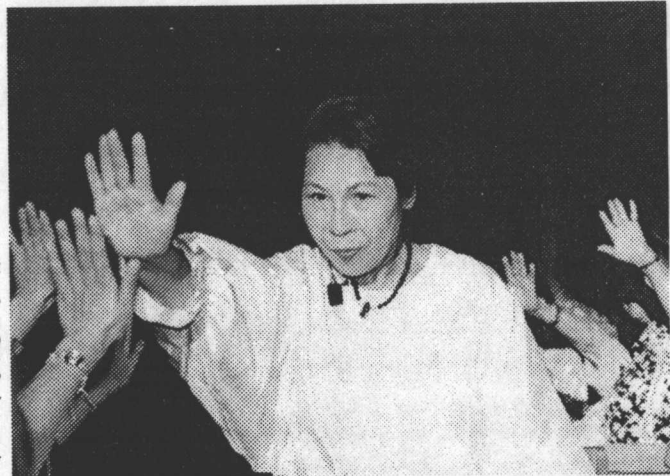
白装束。勾玉（まがたま）のネックレス。大國主命につながり、古代神話の世界を体現しているという三種さんは、神から人類に警告するための「神選使」。自らを「練馬のおばさん」という。彼女を慕って集まった約百人の若者が三種の家を支える。

なぜ、若者を引きつけるのか。元看護婦のレイコさん（三〇）仮名も、一日の大半を三種さんと過ごすスタッフの一人だ。

辛口教祖

あなたには邪心はないが見栄と虚栄がある」とズバリ言われた。『自分に素直になればいい』も私の周りには、そんなことさえ言ってくれる人もいなかった

世紀末の神サマ



パワーが手から手に伝わる。東京都大田区で7月25日、ひろ子さん（三〇）仮名はいう。「三種さん」といって、懐かしいお母さんに会ってる感じがするわ」。神霊治療と現代医療を合体させた病院をつくるのがひろ子さんの夢だ。

レイコさんの胸に、辛口の指摘が響いた。レイコさんは小学生のころからキリスト教に通った。創価学会員にもなった。幸福の科学の大

さまは、占いやオカルトに浸りきった若者にも新鮮に見えるのだろう。初めて来た若者は、三役スターでもある。レコさん（三〇）仮名はいう。「三種さん」といって、懐かしいお母さんに会ってる感じがするわ」。神霊治療と現代医療を合体させた病院をつくるのがひろ子さんの夢だ。

「おふくろ」の求心力

川隆法主宰の本を読み、エホバの証人の話も聴きに行った「宗教ジャンク」。三種さんの「信じたいれば、何をしてもいい。真理は自分の中にある。自分で見つけるものだ。一人ひとりが教祖でいい」という世界にもひかれた。

神さまが三種さんに示したという宇宙マーク入りのTシャツ（五千円）、靴下（一足千三百円）など、神霊グッズも販売。いずれも「体内の乱れた波動を修正して体調を整える効果がある」とうた。秘書役の総合病院内科

日本がみえますが

宗教ホットライン ご注意や情報をお寄せください。〒530 大阪府北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000（11時～13時、17～20時）、ファクス06・3488・93322。

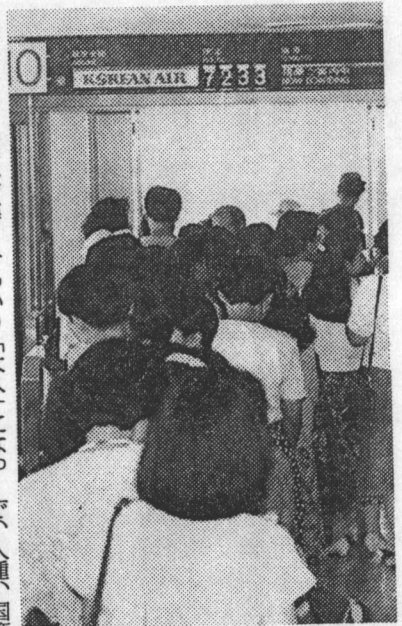
きょう二十五日、韓国で世界基督教統一神霊協会(統一教会)の合同結婚式が行われる。教会が「祝福」と呼ぶこの式典に、有名女優や元五輪選手ら日本人が大挙して参加、大きな波紋が広がっている。記者が日本と韓国で見た、「祝福」の周辺にあるものは――。

「似ている。あの子じゃないか」。八月初め、近畿のある県庁。近づいてくる小柄な若い女性に、白髪の元会社役員と妻は胸を高鳴らせた。もう四年も行方が分からなかった長女まゆみさん(三〇)「仮名」の住民票が今春突然実家から、統一教会の施設に移された。そして、まゆみさんは五月に、同施設のあるこの県に、パスポートを申請した。「おそろい、合同結婚式に参加するためだろ」。住民票の異動で「異変」を察知した両親は連日、県庁内の交付

からの手紙だ。両親は、教会との関連が指摘される霊感商法の実態も知った。看護学校卒業祝いのお名目で自宅に呼び、長男も加わって二十日間にわたる脱会を説得。が、まゆみさんは逃げだし、所在不明に。自宅から県庁まで直線二百以上。通える距離ではない。二人で県庁近くのホテルに泊まり込んだ。夫は役員をしていた上場企業を辞めた。

「祝福」の周辺

世紀末の神サマ



「合同結婚式」に向けて飛び立つ統一教会の信者たち
—大阪空港で今月21日

八年前、看護学校生だったまゆみさんは、家出同然に教会に入った。「信仰に理解のない親なら、捨ててしまえな」。家に残っていた先輩信者

午前九時から午後五時まで一日八時間。窓口のベンチでの一日は、長い。ビスケットやキャンデーで空腹をごまかした。窓口に行列ができ、来てもすぐにはパスポートを受け取れない時に、交代でトイレに行った。

「もう、来ないかもしれない」「老いた体でこれ以上は無理だ。今日で最後にしよう」。両親は、

で、人種、国籍の壁を乗り越えた理想的な姿と自賛する。しかし、反対する家族や牧師らは「愛せない人を愛するのが信仰と思ひ込まされ、拒否できない」「奴隷」の自由意思だ」と批判する。一九六〇年に始まり、今回で十三回目。これまでに約二万組が挙式したという。「祝福」という名とは裏腹に、数多くの

引き裂かれた親と子

窓口が閉まるのを見届け、隣の担当課長を席に訪ねた。事情を話した。せめて、パスポートの娘の写真が見たかった。

窓口が閉まるのを見届け、隣の担当課長を席に訪ねた。事情を話した。せめて、パスポートの娘の写真が見たかった。

なら、幸いだ。肉親を断ち切る結婚で、幸せになれるとは思えない」。二人は、「祝福」への疑いを隠さない。

家族が修羅の悲劇を繰り返している。大阪空港から約七千人。家族の見送りも少なく、若者はソウルに飛び立った。まゆみさんは今、どこにいるのだろうか。(つづく)

日本がみえますが

宗教ホットライン 宗教ホットライン 宗教ホットライン
ご意見や情報をお寄せください。〒5000 大阪市
北区堂島1-6の20 毎日新聞宗教研材班。06・3488・8800(11
13時、17-20時)、ファクス06・3488・9322。

「君たちは、理想家庭をつくることを誓いますか」。二十五日午前十一時半、韓国・ソウルのオリンピックスタジアム。白い冠に式服姿の統一教会教祖文鮮明氏(モヒ)が、韓国語で問いかけた。イエー(韓国語で「はい」)。ありふれた結婚問答だが、返事はスタジアムを埋めた約二万組(既婚者の参加を含む)ものカップルから、地響きのようにわき起こった。

「祝福」という名の下で演出された壮大なイベント。スタンドの記者には、政治的な効果を狙ったマスメームのように思えた。

なぜ合同結婚なのか。旧約聖書のエデンの園の物語から、「エバが墮落した天使長(サタン)と不倫」した後、アダムとも肉関係を持ったために、人間はサタンの血統を受け継いだ」と全く独自の教理を展開する

落差

統一教会。そこでは、「文教祖の指名する相手と結婚し、教祖夫妻と一体になること」によって、この罪が清算されるとされ、合同結婚式はある意味で信者のゴールだ。

「韓国人は人間。日本人はパンくずを拾う犬。その日本人を、王子に嫁がせるお父様(文教祖)の「苦勞を知りなさい」

世紀末の神サマ



山崎浩子さん(前列左から2人目)・桜田淳子さん(同4人目)らが参加した合同結婚式ソウルで25日

一九八八年、合同結婚式で韓国人と結婚した百合子さん(三九〇〇〇〇)が、渡韓直前に日本人幹部から聞かされた言葉。人種の偏見とも思えた

華麗な「縁結び」の裏で

彼は、韓日辞典を繰りながらわびた。韓国統一教会関連団体の職員だった。「お父様の願ひである

に、教理を徹底的にたたき込んでいただけなんです」。百合子さんはそう振り返る。

が、韓国人の結婚相手に選ばれたことを、神に感謝したという。

地上天国が、早く実現するように頑張ろうね」と同じ価値観を求めると、「何を言っている。南北朝鮮統一こそが、最大の願ひだ」。難民救済の名目で募金を集めた。お金はお父様に送っていた」と明かすと、「それは詐欺ではないか」。

「このほんとうの祝福があるのだろうか」。韓国中心の独自の世界観をいまも繰り返している統一教会。「メシアによる国際結婚」という「華やかさを振るまへ会場で、記者は違和感をめぐえなかった。(つづく)

「メシア(救世主)が再臨する神の側の国」である韓国人との結婚は「エリート」の証明だった。「ワタシ、ニホンゴデキマセン」。結婚式前日に「出会いの広場」で百合子さんが初めて会った

会を脱会、離婚した。「靈感商法などで必死に実績を上げ、韓国人とたどりついたと思っただけで、信じてきたことの多くを否定された。結局、日本を『教会の資金源』として、信者を意のままに動かすため

日本がみえませんが

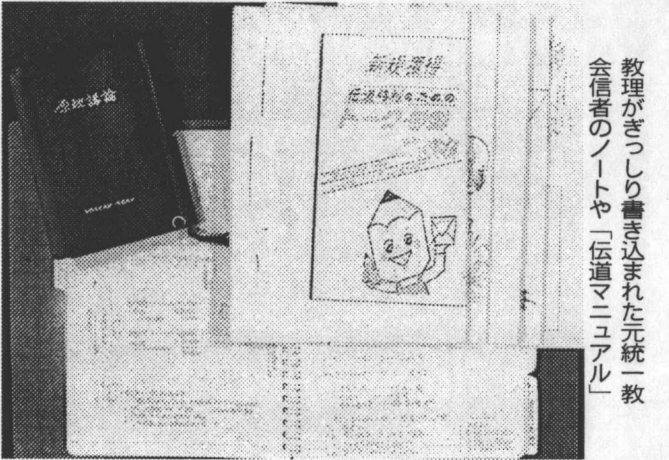
宗教ホットライン 意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・348・8800(11時、17-20時)、ファクス06・348・0332。

「合同結婚式でこそ人間の原罪が清算される」という統一教会。信者たちは「それが真理」と繰り返す。だが、その教理は外部からは分かりにくい。入信の過程を知りたくて、記者は元信者の陽子さん(三十四)「仮名」を訪ねた。

「あの天安門事件(一九八九年)の中国の若者を見たとき、ショックでした」。当時、看護学校の学生だった陽子さん。「私とそう変わらない若者が国や社会、自由のために命をかけている。私って何しているの、という感じ。世界とつながるような生き方をしたかった」とも。

翌春、滋賀県の病院に勤務し、「いよいよ社会に貢献しよう」と思い始めたことだった。京都・四条河原町の喫茶店で会った女子高時代の友人が言った。「私が行ってるサークルをのぞいてみな

世紀末の神サマ



教理がぎっしり書き込まれた元統一教会信者のノートや「伝道マニュアル」

「あなたは意識の高い人ね」。友人の先輩、という女性が陽子さんの手相を見て、「明るい性格で、困難に立ち向かうタイプ」とほめ言葉を連発

ないように頑張った。やがて人間は「生まれながら、サタンの血を引き、墮落している」と何度も繰り返され、「自分で徹底した人間否定とメシアによる救済。そして戦争のない理想世界。陽子さんは「天安門の若者を超える人類への貢献

の道を「洗脳」とみる。浅見定雄・東北学院大教授によると、その仕組みは①家族からの隔離②親切な仲間意識③教理を繰り返して教える④感想文を書かせ、弱点を把握⑤粗食を共にすることで連帯感を持たせる⑥寝不足で暗示にかかりやすくする⑦脱退すれば霊に襲われる、と不安にさせる――となっている。
教会側は「本人が、神と共に生きると決断しており、信教の自由だ」と反論する。だが、「詐欺的な勧誘で、自由な判断ができないような状態での伝道は信教の自由に反する」という法律関係者もいる。
「世界のために何か役立ちたい」という豊かな

「心の操作」に危うさ

入信

い。世界情勢の話もしてくるわ」。そのそぶりからは、彼女が統一教会信者だと夢にも思わなかったという。

一緒に行ったビデオセンターで若い講師が1時間、ベルリンの壁の崩壊などを語った。レポート用紙に感想をびっしり書き、「天安門の話がなく残念」と結んだ。

した。悪い気はしなかった。「よう、入会してもっと学んでみなさい」。友達顔を立てて「ま、いいか」。受け取った会員カードには「市民大学講座」と書かれていた。ビデオ学習に、泊まりがけの修練会。「霊界」

の中の血が憎くなる」ほどの精神状態に陥った。そこに突然「唯一の光」としてビデオに文鮮明教祖が登場。初めて統一教会の名が明かされ、「お父様(文教祖)こそメシア(救世主)だ」と思い、涙があふれてきた。

時代の若者の願いと「理想世界の実現」をうたう教理。街頭アンケートや友達に誘われて、足を踏み入れれば、たちまちマインド・コントロール(心の操作)「される危うさ」が、記者には気になった。(つづく)

日本がなぜ怖いのか

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒5300 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・8800(11時～13時、17～20時)、ファクス06・3488・9999。

統一教会に入信すれば多くの若者は「献身」をする。「ホーム」で共同生活しながら伝道や経済活動を担う「主力部隊」だ。

「苦労と迫害、汗と涙の道。メシア(救世主)と共に歩んでいることが支えてきた」

四年間の信仰生活の大半を「インチキ募金」「靈感商法」などで過ごしたという元信者、道子さん(三十九)仮名は「献身」について、記者にこう切り出した。

道子さんはワゴン車で回る「キャラバン隊」の一員だった。四国の住宅街で、「難民救援募金」の署名簿を抱え、民家の門を叩いた瞬間、左足に激痛が走った。番犬にかみつかれたのだ。嘔き出す血。救急車で病院に運ばれ、七針縫った。

手術後すぐ、隊本部に電話で報告すると「手術

献身

が終わったなら歩けるな。隊長にそう言われ、「はい」と答えた。病院を抜け出し、夕方から五時間、麻酔のしびれが残る足を引きずって、民家を訪ね続けた。

一年四カ月間にわたるワゴン車内での暮らし。午前四時半、目覚まし時計の音で飛び起きる。六時には募金を開始。隣の

世紀末の神サマ



合同結婚式終了後、韓国人親族の輪がいくつもできた。韓国語で自己紹介できない日本人新婦も……ソウルで25日

家に移動する時は、何百歩離れていても走った。数多く回った方が実績が上がるからだ。

昼食は四百円以内、小遣いは月一万二千円。ふ

「信仰生活は金集め……」

ろは夏でも週二回の銭湯、休みは月一日だけ。睡眠は一日三時間。寝不足に全力疾走、栄養不足。民家の呼び鈴を押しした瞬間、立ったまま眠ってしまい、応対に出た家人が気味悪がってドアを閉めた首で、目が覚めたことも。

どうしてそんなに金集めに駆り立てられるのか。記者は驚くばかりだった。「サタン側(一般社会)のお金を「神の側(統一教会)」に取り戻すという「万物復帰」

道子さんは、ざんげの気持ちにかられながら献身の話を続けた。

一人一日三万五千円の募金フルマを果たせなかつたら、夕食は断食させ

られたこと。六、七人のチームで一月計約八百万円を必死で集めたこと。「お姉ちゃん」と、追いかけてきて小さな手に握りしめた五百円玉を渡してくれた小学生。「人の役に立てるのがうれい」と募金してくれた車いすの少年……。「募金

売も同じ。姓名判断で「早死にしますよ」と話し、巧みに貯金額などを聞き出しては高額な「万物復帰」を自指した。何千万円も出して壺を買って離婚された人。言われるままにローンを組み借金地獄に陥った人。悲惨なケースを見聞きしたが「そ

の人自身が霊界で救われるんだ」と信者同士でさやきあった。その「献身」生活の中では、やっていることが何であれ、「やればできる」という妙な達成感も味わえる。共に苦難の道を歩んでいるという仲間意識。内部では「アベル(上級)」と「カイン(下級)」があり、上に対して絶対服従。疑問が浮かんでも考える余裕はなく、新聞もテレビもほとんど見られない。極端な閉鎖世界だ。

「全国靈感商法対策弁護士連絡会」によると、靈感商法などによる被害相談は年間約九十二億円(九一年)。統一教会は「一部にそうした信者がいたかもしれないが、教

日本がみえませんが

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・8800(11時~13時、17~20時)、ファクス06・3488・9992。

06・348・8800
0. 宗教ホットラインの電話が鳴り続けている。連載開始から九回目の二十八日現在、取材班に届いた読者の声は、ファクス、手紙を合わせて百九十件を超えた。

なかでも、統一教会の合同結婚式を取り上げるや、信者を抱えた家族の心配や若者が引きつけられることへの憂い、信者からの意見などが殺到。深刻な社会問題として、議論がわき起こっている。

六回目の「祝福」の周辺に引き裂かれた親子」を読んだ香川の女性社員(五〇)は、

「私の子供も大学時代などに猛烈な勧誘を受けたが、地方から出てきた若者が、(統一教会に)つかまるのがしのびない。若者にも、もっと自覚を持ってほしい」と親の心情を切実に語る。元信者という大阪の

反響

女性(三〇)は、「教会内部では、親が悲しむのは良いことだ」と教えている。一方、信者は、体がポロポロになりながら、必死に笑顔を振りまいており、可哀そうだ」と、信者自身にも同情している。さらに「ある元信者」の署名があるファクスには、



黒と白の壮大なシマ模様が描かれた合同結婚式ソウルで25日

「(統一教会で)お祈りをしてもらったり『聖歌』の歌詞やメロディーに感動させられたが、今は、純粋な若者を献身させる教会のシステムに、

深い怒りを感じる。私も高麗人参茶を買われ、今もローンを払っている。やめてよかった」と、三枚にわたって書き込まれていた。

これまでの取材では、信者たちは「社会の役に立ちたい」という思いにあふれた、まじめな人が多い。しかし、いつしか「靈感商法」などの「献身」への疑いが薄らぐのはどうしてなのか。信仰の世界に入り、家族とのきずなを断っていく信者の姿に、受話器をにぎる

記者はやりきれない思いにかられる。

「娘は『献身したい』と口癖のように言うが、『ほかの親ごさんを悲しませないで。悲しむのは

ウチだけで十分』と言いつ聞かせている。しかし、街でアンケートを取って、ほかの子を誘っているようだ」と

と電話の向こうで大阪の母親(五〇)は涙ながらに語る。鳥取県内の信者の親からは

「娘は家を出て四年、これはこのままでいいので

一度も帰ってこず、兄弟の結婚式にも顔を見せない。親が反対すれば、音信不通になる。マスコミの報道は、これから入信しようとする人にはとて

「いまの日本の性の乱れはこのままでいいので

信者からも手紙やファクスが届く。同じ鳥取県内の信者は、

「いまの日本の性の乱れはこのままでいいので

「マスコミは批判しすぎ。元信者にたまきうなずいているだけでしよう」

とあった。合同結婚式について、大阪の主婦(五二)は、

「宗教を利用した商業活動のようだ。既存のキリスト教会が、若者に受け入れられる教会になるように、真剣に考えてほしい」と問いかける。

これをきっかけに「宗教とは何か、を明らかにするための論争が巻き起こることを期待する」と

憂い、嘆き…切実に

日本がみまはす

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・348・8800(11-13時、17-20時)、ファクス06・348・9002。

統一教会からの「脱会説得」は、被害者の「救出」なのか、それとも信者の「強制改宗」なのか。合同結婚式を目前に控えた八月初め、近畿のある県で繰り広げられた現場に記者は立ち会った。

「私」、「祝福」を受けます。相手は韓国の人です」。彩さん(ニ)「仮名」が、相手の写真を持って久しぶりに実家に戻ってきた。彩さんからの事前連絡で、この日待っていた父親は「いまが救出する最後の機会……」と、説得のための「軟禁」を決定した。

彩さんは大学生だった四年前、大阪市内の駅前で街頭アンケートに答えながらぎっかけて入信、ホーム(信者の共同生活所)に入った。「祝福」とはいえ、本人の好きな相手と結婚するわけではない。文鮮明教祖の指示で相手が決まる合同結婚に家族のたれもがたまり

説得

ない気持ちになった。「どこか静かなところで、家族会議をしよう」。兄の運転する車に家族が乗り込んだ。後部座席の彩さんを挟むように母親と姉が座った。車が信号待ちで止まった時、彩さんが逃げ出すのを防ぐためだ。行き先は「日本基督教団」所属の丸山牧師「仮

世紀末の神サマ

名IIの部屋。棚に神学書が並ぶ居間で全員が輪になって座った。

統一教会の教理解説書「原理講論」への疑問点を一つ一つ指摘しながら



「統一神霊協会は反社会的だ」と語るキリスト教関係者や被害者団体のメンバー(東京で今年18日)

二人の「父」のはざりまで

ら、丸山牧師の説得が続く。彩さんは能面のような顔でまゆ一つ動かさず、視線を床の一点に向けていた。

「危ない。逃げるかもしれない。彩さんがトイレに立った直後、牧師がささやいた。午前二時半。説得開始から四時間半がたっていた。

トイレのそばには、勝手口がある。引きつった表情で母親と姉がトイレに走り、居間には父、兄

と丸山牧師、記者の四人と泣きじゃくった。父親が諭した。「お兄ちゃんとお姉ちゃんは、

と泣きじゃくった。父親が諭した。「お兄ちゃんとお姉ちゃんは、

命をかけてもお前を守ると言ってる。信教は自由だが、霊感商法など社会に対して悪いことをする自由は認められない。大事な娘をほっとけるかいな」。静まり返った部屋に、母親と姉のすすり泣きが漏れた。

「帰らせてよ。ホームに帰りたいのよ。トイレから出た彩さんの叫び声。「ためよ」。母親や姉の声と共に廊下をきしませてもみ合う音がした。二人が彩さんの手を引っ張る。彩さんは帰る。帰る」

日本がみえまがだ

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・348・88000(11時~13時、17~20時)、ファクス06・348・99999。

統一教会信者、彩さん
（三巴）仮名の「救出」
報告を続ける。

彩さんの「脱会説得」
で、丸山牧師の自宅で徹
夜した一家五人は、ホテ
ルのツインルームに入る
なり夕ウン。教会に連絡
できないように、フロン
トに頼んで、部屋の電話
を使えなくした。二つの
ベッドは彩さんと母親が
使い、父と姉は床でゴロ
寝。兄は、彩さんが逃げ
るのを防ぐため、ドアに
寄りかかって眠った。

ところが、わずかなす
きに異変が起きた。食事
のため、一家がロビーに
下りた際、彩さんが公衆
電話を使った。姉が気付
き、電話を切ったが、既
に信者仲間と連絡した後
だった。

翌朝六時、ドアをノッ
クする音で目覚めた。の
ぞき穴の向こうに若い女
性二人がいた。何を尋ね
ても返事はない。だれ、
だれが来てくれたの。

脱会

彩さんが大声をあげてド
アに突進。お前には関係
ない。寝てろ」と兄が押し
とどめた。物音一つしな
い凍ったような数分間。
ロビーで父親が二人に
会った。統一教会の信者
だった。もう一人、男性
が駐車場の軽乗用車の中
で待機している。

「もうこのホテルには
いられない。娘が静かに



「脱会説得」は「強制改宗」と語る統一教会の信
者―東京都渋谷区と同教会本部で今月20日

考える環境が必要だ」。
四時間後、父親は「脱出」
を決断した。一家は十階
の部屋から非常階段でホ
テルの裏口に下り、事前
に回していたマイカーに
乗り込んだ。別のホテル

ように心を閉ざしていた
彩さんに変化が表れた。
牧師の呼び名も「丸山
とか言う人」から「丸山
さん」に、さらに「丸山
十二日目。自ら脱会届

「家族」再生のドラマ

で今度は、偽名でチェッ
クインした。

数日後、家族全員が部
屋でうとうとした時、彩
さんが何かをこっそりポ
ケットに突っ込んだの
を母親が見つけた。「何
したの」。教会に居場所
を知らせるメモだ。詰問
すると、「私は教会に帰
りたいのよ」と大声をあ
げた。

丸山牧師は毎日数時
間、何回も繰り返した統
一教会の教理や、靈感商法
を批判した。やがて貝の

今月二十日、統一教会
が教会本部（東京都渋谷
区）で開いた「強制改宗
被害者大会」では、家族
らの「監禁」から逃げて
きた信者たちが「宗教迫
害を許せない」と訴えた。
「救出を」「強制改宗」
と批判する統一教会に対
し、丸山牧師は「若者を
洗脳し、家族の手の届か
ないところに監禁してい
るのが統一神霊協会だ」
と反論する。

家族の解体、父親の権
威の喪失――。若者の心
をとらえる「新々宗教」
の教団は、崩壊する家庭
の代替機能を果たしてい
るといわれる。その「説
得」の現場にいて記者は
「家族」の再生のドラマ
を見る思いがした。
彩さんは言う。「真剣
な家族の姿を見て、こっ

先生」と変わった。「の
ど濁いたな」と牧師がつ
ぶやくと、自ら席を立っ
て、お茶を入れた。話を

を書き、合同結婚式の相
手の写真とともに、教会
に郵送した。

聴く時も、体を前に乗り
出し、目を大きく開いて
一言も聴き漏らさまいと
しているようだった。

「救出」をめぐる反対
家族と教会側との激しい
攻防。教会側によると、
「ラ致・監禁脱会説得」
は九〇年度三百六十三
件、昨年度は四百三件だ。

そり逃げるわけにはいか
ないと気付いた。みんな
の話を耳を傾け、自分な
りに考え始めると、トコ
トン信じてきたものが音
を立てて崩れた。私の信
念をこれからどうやって
作り直せばいいのか」
(つづく)

日本がみえまは

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒5300 大阪市
北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・348・8800（11
―13時、17―20時）、ファクス06・348・9999。

合同結婚式(祝福)取材のため、韓国に日本のマスコミが殺到した八月下旬、現地は中韓国交樹立の大ニュースで沸いていた。冷戦構造が終わり、新秩序に向けた動きの一つだ。「反共」を掲げてきた統一教会を取り巻く世界は大きく変化している。統一教会もまた、変わるのだろうか。

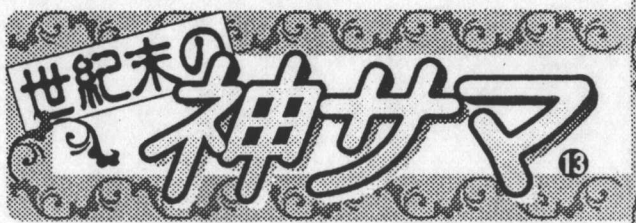
「この式典は、衛星を通じて世界十カ国で放送され、そこでも、祝福が行われています」

百三十一カ国のカプルの約二万組が集まった八月二十五日のソウル・オリンピックスタジアム。スタンドの記者の耳に、日韓英三カ国語のアナウンスが飛び込んできた。十三回になる合同結婚式の歴史で、こんな同時中継は初めてだ。

教理上、「人間が生まれるがために持つ原罪を清算する」唯一の方法が合同結婚式。靈感商法など

予兆

で実績をあげた信者が参加できる重要な儀式で、教会の資金集めと深く結びついている、と脱会者は言う。しかし、「衛星祝福」が行われ、参加資格もなし崩し的になり、数だけが膨大になった。もう一つ、「初めて」がある。合同結婚式が「第一回世界文化体育大典」の一つとして、「世界宗



文教祖が呼びかけた「第一回世界文化体育大典」のレセプション風景(ソウルで8月24日)

教議会」など約十の統一教会関連団体行事と共に行われたことだ。ここにも儀式のイベント化があり、微妙な変化が感じられた。

儀式ショー化の行方

や「ホーム(信者の共同生活所)」の解体もささやかれている。宗教を巧みに政治や経済に結びつけ、社会との数々の摩擦を生み出してきた統一教会は、その基盤が揺らぎつつあるようにみえる。文教祖は昨年末、朝鮮

ニセ募金などは、今後、「マシン」のように過剰に是正すべき体質だ。良識ある改革派は除名覚悟でこの問題に取り組み、組織のウミを出そうとしている」と、日本の統一教会内部に葛藤(かっとう)があることを明らかにし、「靈感商法などとは無

「衛星放送、有名女優を前面に立てたPR...」
「こうした儀式のショー化、世俗化が進めば、儀式のありがたみが薄れ、集金力も弱まる。もう靈感商法という露骨な金集めからは撤退し、新たな構造転換を図ろうという予兆ではないか」。

民主主義人民共和国(北朝鮮)の金日成(キム・イルソン)主席と会談、今春には、日本政界のドン・金丸信氏と会った。「反共」に代わる世界戦略を編み出すための慌ただしい動きといえるだろう。

だが、「これだけの批判を受けて、確かに靈感商法はやりにくい。しかし、教理に『万物復帰』というものがある限り、資金集めは続き、反社会的な本質は変わらないだろう」(評論家・茶本繁正氏)という声も根強い。ある信者は「靈感商法、青春の一時期を「集金」(うへん)

「共産主義」(サタン)という反共を掲げたヒジネスはその意味を失い、教会関連企業の経営不振

日本がみえまじだ

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000(11時-13時、17-20時)、ファクス06・3488・9999。

「息を娘を返して」
「だまされた。お金を取り戻せないものか……」。取材班に届く手紙が日ごと増えている。統一教会への無念をにじませながら、びっしりと書きつづられた何枚もの便せん。その一部を紹介する。

× × ×
二男が今回、合同結婚式に参加しました。

息子は大学四回生の時、付き合っていた女性に裏切られ、傷心の状態で東京で就職しました。そのころです。中学時代の友人から統一教会に勧誘されました。

アダムとエバの墮落論など、女性不信になっていた息子に教理が巧みに入り込み、会社を辞め、ホームでの集団生活。親の苦しみが始まりました。必死で忠告、説得を試みましたが聞かず、今に至っています。

家族だけでは、小さな

手紙から

力です。息子は「親の忠告はサタンの言葉」と教え込まれています。どうか手を貸して下さい。事実を報道して下さい。

(大阪府・N生さん)

× × ×
昨年六月、「手相や姓名判断をする」と物腰の柔らかな若い女性がやって来ました。印鑑の訪問販売で、二万七千円の印

世紀末の神サマ

鑑を買いました。

その後、何回も女性から電話があつて親しくなり、勧められてビデオを見たりしました。家系図を書かされる段階になっ



読者から寄せられた数々の手紙。怒り、悲しみ、不安が渦巻く

ともう催眠術です。教会員三人が家まで、お金をおろす手伝いに来ました。ほぼ全財産の二十万円が運ばれました。「一

か。(大阪府・T子さん) 三年半前、娘の親友が統一教会に入つたらしいと、娘から聞きました。

「催眠術」で100万円献金

て初めて、統一教会と知らされました。家系図を見て、「先祖の因縁が解放されていない」と切り込んできます。

どんな家でも、多少のゴタゴタはあるものなのに、その時には、先祖の因縁から逃れたいと切実に思い、その方法を必死に求めます。

それが、一千万円の献金。信じられますか。「バカけている」と思ったのですが、四、五人がしつこく勧めます。こうなる

円でも欠けてはいけな

私たちも二親と一緒に京都に探しに行きました。何ともうろたな表情の若者たち。熱を出している娘さんもいました。

「家に帰らないね」と声をかけましたが、終始無言でした。本人はおらず、責任者

日本がみえきたが

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒1000 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3448・8800(11時~13時、17~20時)、ファクス06・3448・9999。

あの熱気はどこにいったのだろうか。昨年、ニューウェーブの新々宗教として大きな話題を集めた「幸福の科学」。東大法学部卒の教祖、大川隆法主宰が次々と「霊言集」などを出版、「九二年には会員一千万人」と豪語していた。だが、今、その元気さは見られない。「会員は公称約五百六十万人だが、実質はせいぜい数万」「億単位の借金で内情は火の車……」。記者の耳に入るのは芳しくないうわさ。ここでも「パブル」がはじけたのか。

「内部取材には応じられません」。七月初め、東京・赤坂の一等地にそびえる紀尾井町ビル四階フロアを借り切った本部で、広報課長の小林健祐さん(33)は、こう切り出した。「半年前なら、こちらからお願いたしたかも。いまは内部固めの時期ですから」

転身

わずか一年で教団をめぐる社会の空気はすっかり変わった。

昨年七月、東京ドームで開いた大川主宰の御生誕祭。小林さんは雑誌、テレビのほか、空に飛行船を飛ばし、約二十億円といわれた大PR作戦を指揮した。その半年前に、通産官僚から転身したばかりだった。

世紀末の神サマ



「最高神」として世界宗教を目指す大川主宰―雑誌「幸福の科学」から

大川隆法
一切皆空

「ほく転身の理由? 法を広める使命感、世界を救うというロマンですね」

長野県の公立高校から東大経済学部へ。通産省

「世界救済」に魅せられ

では環境政策課、通産室の課長補佐として三十歳そこそこで三十人近い部下を持ち、国際交渉の舞台にも立ち会った。その時、「世界の人たちは、どんな基準で行動するかを小林さんは考えた。」

「信仰的な背景を持たない国や人は底が浅い。結局、説得力もなく、国際交渉の場ではおろそかです」

日本の提案に諸外国が同調せず、そのまま流れそうになったことがあった。妥協してしまつし上り。

最後まで抵抗する小林さんがある国の官僚が応援した。その官僚は会議後、語った。「今の提案をまとめないで、後で多くの人が傷つく。神の代理

への道を目指すという幸福の科学。それは知的エリート層が抱く宗教へのあこがれを吸収し、大学医学部助教授、新宗教団体幹部、新聞記者……が

人として耐えられない。この言葉が大きな支えになった。

日本の企業と付き合いながら「理想」を『利書』に翻訳してからしか動かない「日本の社会の弱さも痛感した。」

日本人全員を会員にしてそのあと「世界宗教」談社の写真週刊誌「フラ

集まった。そして大川著「ストラダムス戦慄せぬ」の啓示は、「欧州、ソ連、米国が没落した時代に日本が二十一世紀を支配する」という強烈なナショナリズムをにじませていた。

しかし、昨年八月、講談社への猛烈な抗議活動を展開した。その行動に世間の批判が渦巻き、急膨張した会員のかんりの部分が、潮が引くように消えていったといわれる。

「キリスト教もイエスが教えを説いたときは一つの新興宗教だった。当時も、ローマ帝国の優秀な官僚がいて、人民のためにいい仕事をした。しかし、教えを後世に伝えた弟子と、そうした官僚のどちらが社会

日本がみえまかせだ

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000(11時-13時、17-20時)、ファクス06・3488・99999。

「問1、幸福の科学で言っている幸福とは、この世とあの世を貫く幸福であり、これは悟りを得るという幸福です。〇か×か?」。悟りの原理を試す幸福の科学の「統一神理学検定試験」の模擬試験問題だ。記者も挑戦してみた。

五十問で、時間制限は六十分。結果は、百点満点で六十四点だった。今年四月の本試験の平均点は七〇・三点。一カ月間、教団の取材を重ねたうえでの成績だが、まあまあ出来か。

試験問題はまるで大学受験のようで「これで「悟り」という深遠なものが分かるのか、記者には疑問がわいた。

「人生は幸せになっていくための一冊の問題集」。幸福の科学は「人生の大学院」の看板を掲げて八六年、東京・杉並の民家で出発した。正会員の入会条件、資格は、

世紀末の神さま

全国統一検定試験 模擬試験 NO. 2

【出題 悟りの原理】

【設問】次の文章を読んで、正しいものには○、誤っているものには×を

- 問1. 幸福の科学で言っている幸福は、幸福です。
- 問2. 反省の原理は、神の子の4方法です。
- 問3. 悟りの根本の原理は、「進!」
- 問4. 神理の継承は、「悟りたる者」
- 問5. 発展の究極には神の心があり、
- 問6. 中道の中における発展とは、人



人生は一冊の問題集……幸福の科学の模擬試験と雑誌から座」が始まる。論文を書いて教団に送れば、本部講師が採点、成績を知する。参加費は三回分五万円。優秀者の発表もあり、まるで大学の通信教育だ。

はの出版にジネス。これで信者を集め、急成長した。

「私も本が入会のきっかけ。何が自分の心を交えたのか、知りたかった

試験で解く「人生問題」

です」。今春、風邪でアルバイトを休み、アパートで一人寝ていたとき、健二さん(三三)仮名はは大川主宰の「太陽の法」を読んだ。涙が止まらなかつた。

宗教を「浄化」、世界宗教になってユートピア世界を建設するという構想は壮大だ。東京都内の支部に通つと、「幸せチム」という十数人の学習サークルがあった。宗教行事も講演会ぐらいで、「学習する宗教」として

つて電話。会報の購読を勧めるマニュアルがあった。マークシートの試験にも違和感を持った。「こんな予備校のような宗教では悟りに近づけない」。

結局、健二さんは五月、脱会した。今月から「基礎論講

マークシート

大川隆法主宰の著書を十冊以上読むことだ。論文審査で入会を決めるなど、教団としては極めて異例。

これまでに出した本は百五十冊を超える。試験に次ぐ試験、本は確実に売れる。さらに月刊誌、カセットブック、セミナーなどがあり、受験に苦んだ大卒教祖ならで

胸に響いた。早大中退後、アルバイトをしながら作家を目指しているが、大中学中退を告げた時、田舎の母親は落胆のあまりフイローゼになった。そんな母親に反発し、絶縁状

日本がみえませんでした

宗教ホットライン 意見や情報をお寄せください。TEL00 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000(11時~17時)、06・3488・00000。

富士山の西のすそ野。静岡県富士宮市と山梨県・上九一色村を結ぶ県道に、毎日午後になると、五十人ほどの集団が現れる。

薄汚れた白い服の上下に、蛍光色の腕章をつけ、運動靴姿。目や口だけ出した覆面の下からヘッドホンのコードが伸び、右手で計数カウンターの押しながら、フツフツと何かつぶやいている。みんなスリム。覆面の下から長い髪が伸びた女の子もいる。地元の人たちが「覆面行進」と呼ぶ光景に、記者もギョッとした。

これがオウム真理教の出家者たちの修行だ。出家を勧めるこの教団は、「娘や息子を奪われた」と訴える親たちと数多くのあつれきを生んできた。何が若者たちを「覆面行進」に駆り立てるのか。

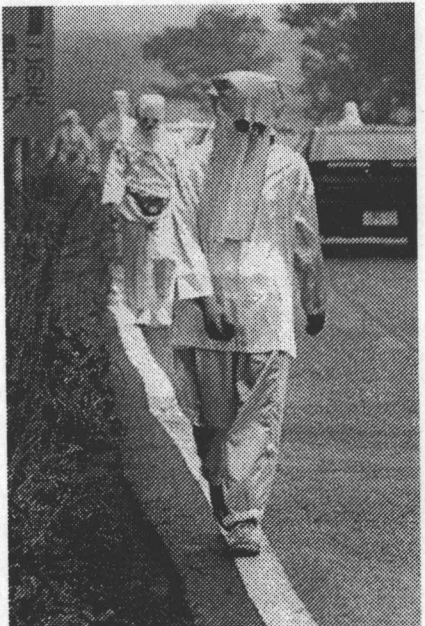
終末の危機感を訴え、病苦からの解放、この世

覆面行進

の幸福、悟り・解脱を説くオウム真理教。「これこそ本物だ」。二年前の冬、富士山総本部に秘儀を受けに来た正夫さん。『仮名』には、出家者たちが二千六百年ほどの仏陀(ぶつだ)と、その弟子たちに重なるって見えた。

瞑想(めいそう)法の指導が三千万円、麻原彰

世紀末の神サマ



顔を隠し、修行するオウム真理教の出家者たち—静岡県富士宮市で8月18日

晃教祖のDNAの培養液が入っているという水はコップ一杯で十万円。教祖が入ったあろの水が三万円—など計五十三万円。正夫さんは「生き仏

教団歴を重ねてきた若者サークルのような雰囲気。助かりたかったら、出家しかない。幹部の声にせき立てられ、両親を残して出家した。貯金や車など全財産を「お布施」として差し出し、山梨県の道場に転がり込んだ。

「核戦争に備えたシェルター」という触れ込みは、むしろ、日付が変わってからは、一カ月後、熊本県の阿蘇山ろく・波野村へ。いっつ核が落ちるか分からない。精舎(寺院)を造って縁ある人を集めなければ。そう言われ、切り株の残る斜面を削った。夜を徹しての突貫工事。油と汗にまみれながら、車の中や杉林に敷いたビ

出家に映る「時代の顔」

の指導だから」と、高いとは思わなかった。

「超能力や解脱のためのプロセスがはっきりして、ボクにもできると思ったんですよ」。正夫さんは子供のころ、空手家を目指したが、挫折。友たちのいない京都ではり・きゅうの専門学校に通いながら、断食修行、ヨガ、古神道などの精神世界をめぐる、麻原教祖の本と出合った。

正夫さんが近畿地方のある道場を訪ねると、宗

の道場は、プレハブの内部にビニールシートが張ってあるだけ。毎日五時に起床。歌を歌い、呼吸法を学び、瞑想。食事は昼と夜二回、菜食のみのオウム食。ベニヤ板で作った「蜂の巣」という三段重ねの寝床にもぐり込

修行はおろか、戒律すらどこかへいってしまった

しかし、在家信徒のころとは打って変わって、絶対服従を強いる幹部。「お布施と、労働力だけが必要とされていたのか」。そんな疑問が頭をよぎった。一年後、こっ

既成宗教。モノがあふれかえった社会に対する無常感。覆面行進する「超俗」の出家者も、ひとつの「時代の顔」なのだろうか。

日本がみえまかせ

宗教ホットライン
北区堂島1-6の20 毎日新聞宗教取材班 06・348・8800(11時、17-20時)、ファクス06・348・8800

〒530 大阪市

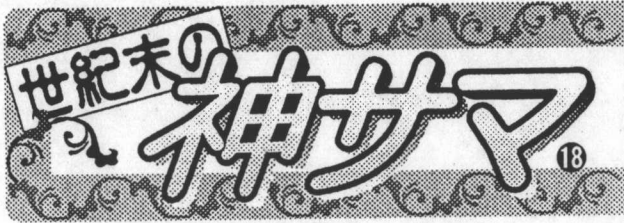
「出ておいで、一緒に帰ろう」。二階の窓から顔を出した子供に向かって叫ぶ親たち。施錠された中からカーテンが下りた扉へはびりつくようにのぞき込み、わが子や孫を探す人もいる。

今年四月から始まったオウム真理教被害者の会の「8の目行動」。月三回、八のつく日に、静岡県富士宮市と山梨県上九一色村のオウム真理教の施設の前で繰り返される光景だ。八月十八日、記者もかけつけた。

麻原彰晃教祖の下での修行で解脱し、絶対的な幸福の境地が得られると信じている若者たち。その心は、親にはどうして理解できない。「ある日突然、子供が行方不明になるんです」。親たちは切実に訴えてきた。「大学に合格してから、オウム真理教にいた三年間の記憶が全くないんです」。静岡県富士市内で

空中浮揚

会った元信者の徹さん(三三)「仮名」は顔をゆがめた。オウム真理教が社会問題化した三年前、テレビのワイドショーに信者として出演し、反論したことも覚えていない。ある日、教団施設近くで倒れていたのを発見され、母のもとへ帰った。一心に修行し、実社会から身も心も浮き上がっている



うち、時間だけが過ぎていた。

「どうして宗教に」と聞くと、徹さんはこう答えた。

「高校生のころ、数学

の時間に手を挙げると、

「知ったかぶりだ」とは

やしたてられ、いじめら

れた。オレの性格が弱い

のが原因だけど、こんな

性格になったのは、前世

からの因縁や悪業があっ

たから。そう考えるうち

宗教にひかれた」

性格上の悩みや疑問

が、いきなり前世の因縁

や宗教に結びつく。オウ

ム真理教は、修行すれば

体が跳び上がる超能力

「空中浮揚」が身につく

というが、それはそのま

理解超えた救済論理

れている。上九一色村では、昨年五月末、転入してきた信者たちの住民票は受け入れた。だが、地元・富士ヶ嶺区は「区の住民としては認めない」と反発。熊本県・波野村では、信者の住民票を不受理にし、地元住民の一



とんで、とんで―若者たちは現実からの浮揚を目指す。―「超能力秘密の開発法」(オウム出版)から

関心がないのだろうか。「修行するぞ、修行するぞ」。「くっのかい子供班」という札がかかった二階建ての建物から、教祖が吹き込んだテープに合わせて叫ぶ幼い声が聞こえてきた。玄関には、小さな靴やサンダルが散らかっていた。「学校へも行かずに、こんなところで一つの考え方だけを吹き込まれたら、どんな子に育つか」。富士ヶ嶺オウム教対策委員会代表委員の一人、竹内精一さん(大田)がまゆを曇らせた。

「現実からの浮揚」ではないか。記憶を失った徹さんの話を聞くうち、記者には、そう思えてきた。オウム真理教は、施設を設けようとする先々で地元の反対運動にさらさ

ちが、いちいち頭を下げるのとは対照的だ。終末から人類を救うために戦うというオウム真理教。だが、その具体的なプロセスは見えてこない。自分たちの夢や理想が現実の社会からどう評価されているか、まるで

最初から「現世のつまらなさ」を予知しているのだろうか。記者は考えた。

日本がなぜオウムだ

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒5300 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・8800(11時~13時、17~20時)、ファクス06・3488・9322。

まあいい。背中が熱い。手が勝手に動き出した。自分の体じゃないみたい。どうしてこんなことになるのか。

そう思ったとたん、記者はうつむいたまま、幽霊のように両手を前にだらりと突き出していた。涙がポタポタとひざの上に落ちた。

不思議な体験だった。「三日間の研修で、手のひらから真光(まひかり)という霊波を発してスーパーマンになれる」という世界真光文明教団(本部・静岡県中伊豆町)。

愛知県刈谷市の道場で先月末、開かれた研修会に参加した。十歳から受講でき、周りには小学生から大正生まれのお年寄りまで三十四人がいた。

不幸の八割は、霊がもたらす「霊障」。神の光を受信する「御み霊(おみたま)」を身につければ、不幸と縁が切れるという教え。霊界の仕組み

お浄め

や宇宙を貫く法則、世界観について講義が続く。道場で清らかな光を浴びていけば、居眠りしていてもかまわないという。連日、頬に手をかざす「お浄(きよ)め」を受けた。異変が起きたのは三日目。

「お尋ねします。ご先祖様の霊ですか」。正面に教祖が書いた掛け軸を

世紀末の神サマ¹⁹

ご神体としてまつた四十畳の大広間。記者の額に手をかざしていた教団職員(星野光之さん)が、体が動き始めたのを



ご神体を背に手かざしの実習が始まった—世界真光文明教団刈谷大道場で8月30日

ご先祖様が現れた？

見て、こう聞いた。「ハッハッハッ、ハッ」。

自分では止められないくらい呼吸が速くなった。首が後ろに引っ張られる。目をこらしているのに、黄色く、明るい光が見えた。急に力が抜けて首がガクンとうなだれた。「ハイ」と返事をしたことになるのだろうか。

「(ご先祖様は)恨みを持って亡くなったのですか」

そんなの、ボクが知るもんか。腹から笑いが込

み上げてきて、顔がゆがむのが分かったが、首はガクンと左を向いた。これは「ノー」のサインか。

「おしずまり」と、星野さんが気合を込めて三回唱えると目が開いた。記者の体からだれか先祖の霊が浮き出す「霊動」だと説明された。恐山のイタコのような霊媒になってしまったのか。「体が

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

ひねった。翌朝、道場で足首にお浄めを受けた。屋敷を食べていると、教団幹部の二宮健親さん(五

日本がみえきた

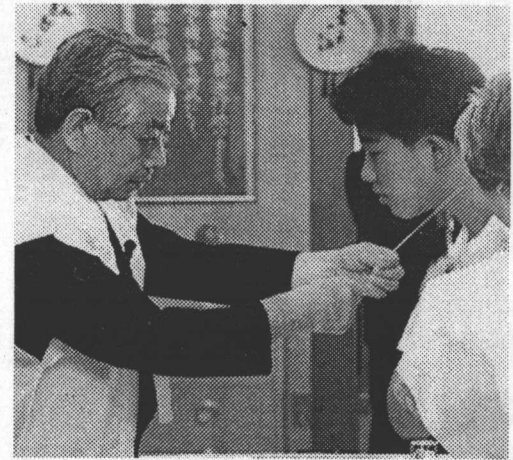
宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。TEL:03-0 大阪市
北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。03-3448-8800(11
時、17-20時)、ファクス03-3448-9022。

世界真光文明教団の「手かざし」を受けた記者の体は、確かに震え、涙が出た。かつては神々の専売特許だった「奇跡」は身近なものになり、教団がいうように「だれもが『イエス』になれる」時代になったのか。

「ムウさん、ムウさん」。静まり返った放課後の教室。友だち四人で十円玉の上に人さし指を置き、目を閉じた。じっとしているのに、周囲の文字をなぞるようにスーッと十円玉が動く。記者は中学時代の体験を思い出した。

「ムウさんが降りた十円玉が、この教団では「御み霊(おみたま)」にあたる。金メッキの五百円玉大のペンダント。首からかけ、動かないようにシャツの内側に安全ピンで固定し、寝る時も付けたまま。神の光の受信機で、霊波が体中に満ちているようだ。御

世紀末の神サマ²⁰



研修を終えて、「御み霊」を受ける世界真光文明教団刈谷大道場で8月30日

がもたらされる、と言われて入信した。「ボクの先祖は庄屋だったけど、凶作の時、貧しい農家から米を無理やり出させたんですよ。そ

しかし、例えば、妊婦と別の角度から見れば「手かざしを受けたとす。安産なら」お浄(き)と手を合わせているよめのおかげ」、流産すれば「災いをもたらすような子だったので、神様の大きな愛が流産させ

「気」を手から発する氣功では、体が震える「靈動」は「自然動功」と呼び、靈現象とは考えない。手かざしは「氣功」を宗教に結びつけたものなのだろうか。一緒に研修を受けた理容師、正之さん(仮名)は言った。「いつも店でしかられていたけど、ここに来て自信を持てた。お客さんの頭に手をかざしてみようかな。」「靈界」をのぞくことでいつしか元氣が出た。教団では、「御み霊」を受けた信者は、やがて「火の洗礼」といわれる終末時に生き残り、新しい世界を築く「種人」になると説く。信者たちは「種人」を増やすために勧誘などに打ち込み、生

神秘の種

「種に、手かざしすれば、よく根を張り、発芽もいっしょに」カーネーションを栽培し、ビニールハウスを拡張するたびに、借金がかさんだごきだった。「御み霊」を持っているだけで「健・和・富」の幸せ

のお百姓さんの霊におわびしないと……」無稽むげいに聞こえるが、一緒に手かざしすることで物語が紡ぎ出されるようにみえる。放課後の教室に残った友だち同士で秘密を分け合い、神秘体験のネットワークができていくのと同じだ。道場にいる間中、「奇跡」の話が途切れない。「アトビー性皮膚炎が治った」「池に浮いていた子が息を吹き返した」「髪

た。逆に、手かざしを受けずに流産すれば「その家の家系を絶やそうとする霊の仕業」。霊界迷路に逃げ込んで、すべてを「霊のさわり」にすることで「救い」になっているようだ。霊のせいになれば、楽だし、現実の自分をちょっと変えられる。生体エネルギーの

見。寝ている時、急に体が動かなくなるといって「金縛り」や、魂が肉体を抜けて自分を見つめる「幽体離脱」と相通じる神秘体験だ。しかし「手かざし」で「神業」を行うのは、宗教に限らず、「氣功」もそう。生体エネルギーの

き方までも変わる。手かざしを通して心にまかれる神秘の種。現実社会の中で悩む若者の心の奥に根を張り、「奇跡」の輪を広げる。「あなたも靈界を信じなさい」。「神サマ」のさきやまが記者にも聞かされたような気がした。(つづく)

手から手へ 霊界ネット

日本がみえまが

宗教ホットライン 意見や情報をお寄せください。TEL 06-8800 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06-3488-8800(11時-13時、17-20時)、ファクス06-3488-0880。

「何、歩けるようになった
なりました」「二十年来
の胃の痛みがすっかりと
れました」

大の男も若い女性も
われもわれも、口々に
叫ぶ。涙にぬれた顔はく
しゃべりだす。

「ドン、ドン、ドン」
手も足もこんなに高く
上がるんだと誇示するよ
うに、太鼓に合わせて行
進を始めた。何が起っ
たのか。記者は目を見張
るばかりだった。

福岡県筑紫野市の宗教
法人・善隣会本部で三日
間の日程で開かれた「性
格改善」お助け特別講習
会。二日目の正午を期し
て行われる「おすがり」
のたびに、「奇跡」が起
きる。黒衣に長髪、ひげ
ぼうぼうの、カ久隆積教
主が、本部教師に支
えられながら大広間を回
る。体に触れるだけで、病
がいやされ、即決の救い
が得られるというのだ。
「Amazing Grace」。

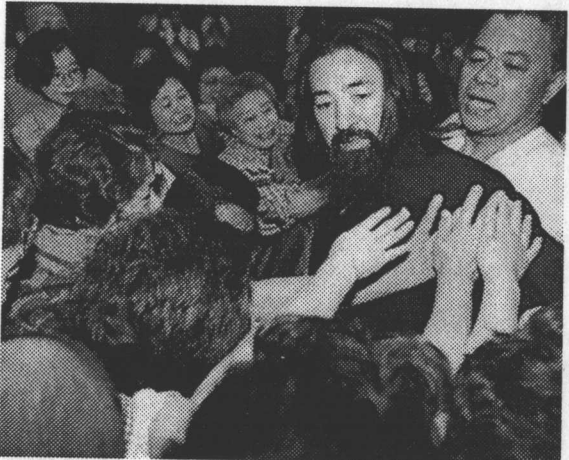
おすがり

正史さん(三)、佳代さん
(三)「仮名」の若いカッ
プルに声をかけた。

「一年前からイライラ
して、ここ三カ月仕事に
行っていないです」

正史さんは、そう言っ
た後、黙り込んだ。二十
歳の時、兄と共同の家具
製造工場を持った。小規
模ながらも会社の役員。
父親くらい年の職人を

世紀末の神さま



教主にすぎる手、手、手―善隣会本部で

雇用、大手の取引先との
交渉などで気苦労が多
い。朝四時すぎから夜十
時ごろまで工場にいて、
だんだん口数が減った。
子供の相手をしている時

身も「平凡な教えでしょ
う」と笑うが、単純なだ
けに分かりやすい。「本
当に奇跡が起るかも…
」。自己暗示から自己
陶酔へ。みんな心地いい

「あそこまで自分を出せ
ないよ。勘弁して」とい
う感じ。みんな雰囲気
のみ込まれたのかなど、
一人たばこをふかした。

大広間では依然として
おすがりの興奮が覚め
ず、「性格改善の道」と
題した教主の講演が始ま

心のスイッチ切り替え

も、仕事に気がになり、胸
が苦しくなった。

「人間の運命は、心を
明るくするか、暗くする
かで決まる」「無口は不
幸の始まり」。教師は二
十人余りの班に分かれた
話し合いの場で繰り返し返
す。前回触れた世界真光
文明教団がいう「霊界に
よる奇跡」とは違う、ここ
こでは徹底した「自力に
よる奇跡」を強調する。

「明日の十二時、素直
におすがりすれば、即決
の救いをいただけること
ができるのです」。教師自

集団催眠にかかっている
のだろか。

大食堂で同じカマの飯
を分け合い、夜は広間で
雑魚寝。不慣れた正座で
腰がたるくなった正史さ
んの背中を、同じ班のお
ばさんがもんでくれる。
「もっと、ニコッとせん
かね」と説教するおじき

みが出てくる。「あんな
が、気持ちを切り替えん
と、よくなるんばい」。

みんなで励まし合う。
すべてを吐き出したと
ころで、おすがりを迎え
る。正史さんは、カ久教
主の姿を見たとき、床
に手をつき泣きたした。
「フアーン」。腹の底が

った。「十二時の前後
のあなたは別人だ」。生
まれ変わったと信じてい
る信者に対して、徹底し
た切り替えによる自己改
善と向上が説かれる。

「奇跡」は絶妙な仕掛
けとして確かにあった、
と記者には思えた。
(つづ)

日本がみえまがだ

宗教ホットライン 意見や情報をお寄せください。T-0300 大阪市
北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3486・88000(11
13時、17-20時)、ファクス06・3486・90000。

世界真光文明教団の「手かさし」や善隣会の「自力救済」でみた、心身の癒(いや)し。果たして、「奇跡の世界」は存在するのだろうか。

キャバレーや居酒屋の消し忘れたネオンがまたたく午前五時前。東京・立川駅前で黙々と掃除をする集団がある。中学生から中年男女まで約百五十人。音のないゴム底の靴を履き、ほうきとチリ取りを手に、吸い殻や空き缶を集める。

霊界と交信できる霊能者が千人もいるという密教系の宗教学者・真如苑(総本部＝東京都立川市)。約六十八万人の信者が各地で清掃奉仕をしているが、これも霊能のための「修行」だ。霊能者とはどんな人なのか。

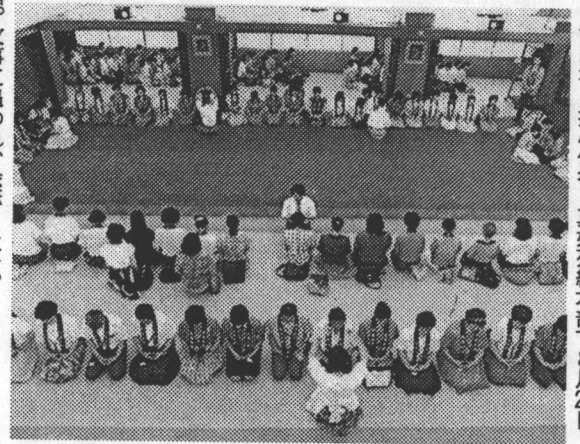
この教団には霊能者を養成するプログラムがある。信者が霊能者から霊言を聞く「接心」を重ねる(以下)。その信者自身

霊能集団

が霊能者になれるという。記者は、総本部で接心に立ち会った。

「サッ、ハイハイ。いったん心を決めたら、サッ、どんなことでも真き通すことです、ハイ」エフロン姿の霊能者、恵子さん(三)「仮名」は大広間の信者の輪の中に入り、甲高い声で霊言を伝えている。「サッ」と

世紀末の神サマ



「霊界から、どんな言葉が……」。霊能者を前に祈る接心修行＝真如苑総本部で8月24日

婚。家事に追われ、絵筆を握ることはほとんどなくなった。

「このままでいいの」というあせり。そんな時、接心で、「主婦として

た」。

両手を合わせて頭上で印を結び、正座のまま滑るように信者の前へ進んでいく恵子さん。霊界と通じる「入神」の瞬間、

心の「くせ」を映し出す

には聞こえる。「どうして、霊能を？」と尋ねると、「アイロンがけをしていると、夫のワイシャツが涙で見えなくなつたの。霊能を開いたのは、それから間もなくでした」。

入信したのは、美術大学を目指していた十八歳の夏。大きな悩みがあったわけではない。「あなたも霊能者になれる」と友人に誘われたのがきっかけ。軽い気持ちからだった。大学を卒業し、結

毎日感謝の気持ちを持つて過ごすのが大切」という「霊言」を受けた。心の中を見透かされ、動揺した。この日から世界が委わって見えた。洗濯やアイロンがけをしていてもありがたいと思え、涙さえ出るようになった

「白装束で滝に打たれているような光景が目につくかおとも。自然に口が動き出して霊言がでてくる」そうだ。

輪の中では霊能者八人が、胸元で合わせた手を背中合わせにしたり、突き出したりする。イヤイ

で迫りやってきた「霊能の世界」。しかし、そこから現れてくる霊言は、ある種のインスピレーション、心の奥深くに眠る人間性のようなものではないかと記者は感じた。それだけに受け入れやすいのだろう。(つづく)

日本がみえかた

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒5800 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3448・8800(11時～13時、17～20時)、ファクス06・3448・9332。

「テクマクマヤコン、テクマクマヤコン」。コンパクトをのぞき込んで呪文(じゅもん)を唱えるTVアニメの「ひみつのアッコちゃん」。鏡の向こうに霊界があるのか。それはそのまま心の世界ではないのか。

女優ら有名人の信者が多くここで知られる真如苑。「霊能の世界」の話を知っているうち、記者は、アッコちゃんを思い出して、「ここが「秘密の花園」に迷い込んだような気がした。セーラー服の高校生やジーンズの若者が、総本部(東京都立川市の門前で、紫色の襦袢姿(えりげき)をかける。中に入ると、職員が一人ひとりに「おかしな事ない」。「霊能者は年齢も職業もさまざま、見るからに普通の人々だった。

秘密の花園

に霊能者になった会社員の信夫さん(三〇)「仮名」は、信者に霊言を伝える「接心」を初めて担当する前、少し不安になった。三浪して大学入学後、アイドル歌手の親衛隊として全国のコンサート会場を回る「追っかけ」をやめ、毎週のように道場に通り、十年ほどで、霊能が開けたという。

世紀末の神サマ



「秘密の花園」は、少女たちのキャンパス?—真如苑総本部で8月24日

「自分を捨てない」とダメ。そんな先輩の霊能者の言葉で吹っ切れた。今では接心を受ける人の輪の中に入り、印を結べば、霊界と交信でき

ていく過程だった。「あなたは我が強い。バカにならないさ」。ラジオパーソナリティーの明子さん(三〇)「仮名」は、霊能者から言われた。十年近く前から舌っ足らずのディスクジョッキーとして、華やかな放送の世界にいたが、仕事を辞めて結婚。しかし、放送中、若者の気持ちを映す鏡になっていた。「不思議の国のアリス」のように、霊界を訪ねてくる若者たち。真如苑は、その入り口として「接心」を重視する。そして、信仰の深さに応じて霊能者を段階的に養成するシステム。霊能者を「ミイデア

自己愛満たす祈り

るそうだ。自分の頭が痛くなれば、「この人は、頭だけで考えているな」。教えを理解してくれたいな、と感じると合掌した手が、スッと上がる。輪の中央へ戻って、お祈りすれば、普段の状態に戻る。

決められた場所で、決められた手順を踏めば必ず、霊界と交信できる。霊能者を生み出すシステムが整備された霊能集団だ。そのための修行は、祈りを深め、自己変革し

日本がみえまうか

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000(11時~13時、17~20時)、ファクス06・3488・99992。

「何で若い人が寺に来ないのか」「お坊さんは何をしているのか。悩みがあっても相談できない」。この連載は、主に新々宗教を取り上げ、若者の間に広がる宗教ブームの実像に迫ろうとしている。だが、それは同時に伝統的な宗教のあり方も問い直すことになる。

「葬式仏教」というらへ印、不信用はあまりに大きい。若者に共鳴できる表現を獲っていかないと既成の宗教は魅力を失う。大阪市の浄土宗の住職、秋田光彦さん(ミセから宗教ホットラインに送られてきた)ファクスだ。伝統仏教に対する危機感がのぞく。

いま宗教をめぐる情報はあふれて、「宗教ブーム」というよりも宗教情報ブーム」という学者もいる。「何が本当なのか。何を基準にとらえていいか。現代の宗教

読者から

ははてしない「宗教ブーム」になっている」と秋田さんは指摘する。

秋田さんは、最近、幼児を抱えたお母さんを集めて経典講座を開いた。参加したのは約五十人。普段、仏事を通じてしか仏教に接しない人たちが、なにかを求めている」という強烈な思いを知った。「しかし、いま

世紀末の神サマ



生きる支えはどこに？ 二人一組で両手を握りあう」ともすがり「善隣会」で

の坊さんは、たしなみの解説者であっても、あまりにも仏教を、つまり人間の生死について語りなくなつたのじゃないか」一方で、秋田さんは若

材で「記者が「手かき」を受け、体が震えた体験報告について、「記者が手かきしかかるように、記事を書く資格がない」(愛媛県新居浜市、男性)、「記者も洗脳さ

× × × 合同結婚式で注目を集めた統一教会の布教方法、靈感商法をめぐっての苦情、批判の電話は今も途切れなく続いている。取材班に寄せられた情報では、今回、合同結婚したうちの百組がいったん帰国した後、八月三十一日からチャーター便で朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)に飛び、「合同ハネムーン」を行ったという。文鮮明教祖の生家巡りが目的だそうだが、なぜこの百組が選ばれたのだろうか。また第三回「UFO教」で紹介した日本ラエリアン・ムーブメントからは「UFOの存在や異星人のメッセージは信じているが、UFOという物体

強い「個人願望」に不安

者たちの宗教ブームの背景にある「自分探し」「個人願望」にも疑問を投げかける。

「他者への思いやり、施し、共鳴共感こそが宗教的な心情。チャネリングやセミナーなどは他者とのかわりという視点がない。共生の時代なのに、なぜ個人願望なのか」。若者の前では、伝統宗教も新しい宗教も、同じスタートラインに立っているといえる。

× × × 世界真光文明教団の取

れているのでは「(大阪り、助けてもらおうとする市、女性)などの批判が寄せられた。逆に、「命がけの取材に感激した」(兵庫県尼崎市、女性)との激励も。

を信仰してはいない」という趣旨の抗議が寄せられた。次回から、若い人たちがターゲットに積極的なメディア戦略などを展開している「コンモニティ」を取り上げる。(つづく)

日本がみえまが

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒580 大阪市北区堂島1-6の20 毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000 (11時~13時、17~20時)、ファクス06・3488・90022。

「心楽しいデイズニ
ランド」——こんなキャ
ッチフレーズで若者を中
心に約三万人の会員を持
つ「コスモメイト」。株
式会社組織だが、ポスト
・幸福の科学の新宗教集
団として注目されてい
る。マスコミの取材をシ
ャットアウトし、独特の
「メディア戦略」を展開
中だ。どんな「神サマ」
が生まれようとしている
のか――。

川崎市の新鶴見操車場
跡地。巨大な仮設テント
から、エレキギターの演
奏が響く。八月中旬に行
われたコスモメイトの夏
祭りセミナーだ。会員証
を手に記者も参加した。
「結婚！ 結婚！」

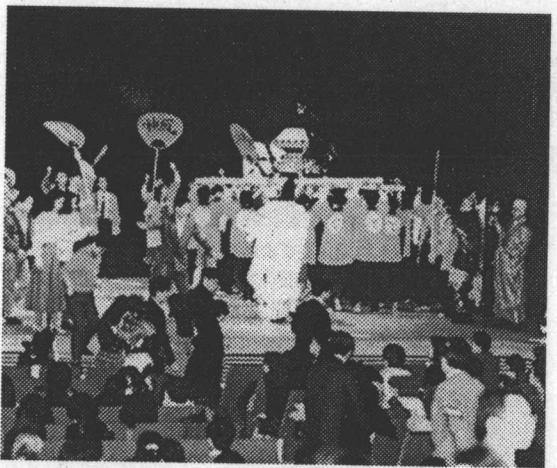
約二千人の若者が、ロ
ック音楽に総立ちで赤と
青のペンライトをリズム
に合わせて振っていた。
壇上で神主姿の深見青山
氏(右)が、ボーカルの女
性が婚約したことを紹介
したからだ。深見氏はコ

ロック神道

コスモメイトのリーダー。
会場の熱気は一気に盛り
上がった。

コスモメイトは、神が
人間に降りてきて一体に
なるという「神人合一」を
目指す在家神道集団。一
九八五年に東京・西荻窪
でスタートした。深見氏
らが出版した本は三十数
冊にのぼり、その本を読
んだ若者たちが入会。現

世紀末の神サマ



神道を軸に若者をひきつけるコスモメイト
のセミナー

在、全国八十七カ所に支
部があり、開運法などを
学ぶ講義を開いている。

この夏祭りセミナー
は、初の試みとして全国
七カ所で開催。宗教行事

コスモメイトは、宗教
行事への参加の強制はな
く、布教のスタイルは大

川隆法主宰が八六年に設
立した幸福の科学とよく
似ている。だが、その性

除霊」から「当地演歌ま
で、数多くのCDやテー
プを販売している。機関

紙には、深見氏の名前を
もじったバンド「セザン
(青山)オールスターズ」

午後十一時すぎ。まだ
セミナーは終わらない。
タキシード姿の深見氏と

ドレス姿の橋女史が「青
い山脈」をデュエット。
会員から「タチバナ・セ
ンセイ」というにぎや
かな声が飛ぶ。
深夜のコンサートに、
会場近くの住民が道に出
て、げげそそにテント
を眺めていた。ロックと

学園祭の軽いノリ

とはいえ、ステージ上の
神棚に祝詞をあげ、教祖
的存在の橋カオル女史ま
じが玉盃しをささげる神
事だけ。あとは吉本興業
のタレント、有名ジャズ
クインテットやプロの民
謡歌手らが出演し、延々
とアトラクションが続
く。

テントの裏では、体中
黒く塗って変装した若者
が、歩き回っていた。関
東、東北など各地区代表
による隠し芸大会の出演
者たちだ。まるで学園祭
の雰囲気。

格は随分違う。書籍をも
とにパーテテストで悟
りを目指す幸福の科学が
「歴史研究サークル」な
ら、音楽を重視し学園祭
のノリで楽しむコスモメ
イトは「軽音楽サークル」
みだいだ。

音楽活動を奨励するコ
スモメイトは、組曲「大
で、月や金星に旅行する

の練習ぶりを紹介。「音
楽は今の時代の若者に直
接、霊性や神性を与える、
新しい時代の神の表現」
と会員向けのパンフレッ
トで深見氏は語る。
コスモメイトの秘法の
一つに「星ツアー」があ
る。集団瞑想(めいそう)
で、月や金星に旅行する
(つづく)

日本がみえますが

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒5800 大阪市
北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3448・88000(11
-13時、17-20時)、ファクス06・3448・88022。

「四十五歳までは、マスコミに登場しない。その後も、テレビには出ないつもりだ」

若者に人気のある神道集団、コスモメイトのリーダー、深見青山氏(画)はいう。取材申し込みが百数十社からあるが、すべて断っているそうだ。メディア社会の中で、メディアから意識的に遠ざかることで「神秘性」を保ち続けているようにみえる。深見氏を知る人はいう。

「あの人の本質は、教育者。自分で長期プランを立て、一つずつ確実に階段を上がっている」

東京・西荻窪。コスモメイトのほか、幸福の科学などの事務所があり、多くの宗教学者が住んでいることから、現代の「霊界ゾーン」ともいわれる。その一角にある学習塾「三十鈴学苑」(みすずがくえん)。

塾感覚

父が社長。コスモメイトの教祖的存在の橋本カオルさんや、深見氏も役員になっている。幼児から大学受験生まで約三千五百人が約四十の教室に通う。コスモメイトがスタートする七年前に設立された。大学や高校を経営する宗教団体は多いが、学習塾から発展したのは珍しい。若者の心をつか

世紀末の神サマ



神棚に向かつて祈願する若者たち「月刊COSMOMATEニュース」から

むつまじの秘密は、若者産業としての塾経営にあるのではないか。記者は、成り立ちを調べると、そう思った。

深見氏は兵庫県西宮市

恋のハウ・ツーも伝授？

出身。講演などによると、小学生のころから神様にあこがれ、中学三年から世界救世教に出入りした。その後、「大本」に傾倒。いずれも新興神道で、コスモメイトが目指す「神人合一」の下地になったようだ。

セミナーなどの運営は、三十五歳までの若い会員でつくる「青山塾」の塾生任せ。音楽好きの会員はバンドを組んで演奏をする。三泊四日のスキー合宿もある。

「宇宙戦艦トーマット

」。夏祭りのセミナーでテレビアニメの主題歌を替え歌で熱唱する深見氏は物まねも得意で芸達者。橋さんも、会員の手拍子

し「夏祭りのセミナーでテレビアニメの主題歌を替え歌で熱唱する深見氏は物まねも得意で芸達者。橋さんも、会員の手拍子

に合せて童謡を歌う。ずつこけて仲間意識を強調する。若者との距離を感じさせない演出だ。

深見氏の著書「愛の守護霊(扶桑社刊)では、切り取るとカードサイズになる「成婚地蔵」の絵がついている。「男をたますべらうい美しくなる

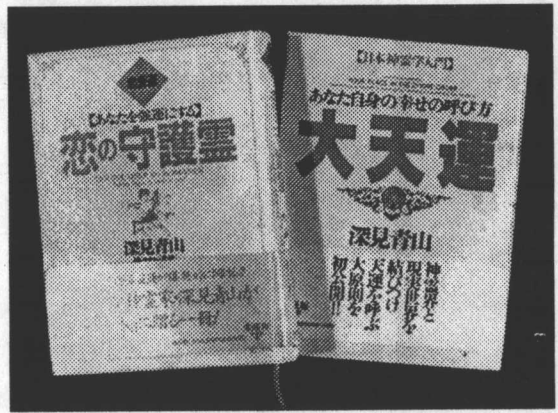
と合わせ、深見氏の著作三冊を出版し、計四十万部を超えるヒットに。「決して連が開ける本にしてほしい」と注文した扶桑社の藤本均編集長は「四角形に対角線を引くと、三角形二つになる。この本はつまり対角線。若い人が世界をほんの少

るのも自由だ。そこには公立の学校が失ってしまった熱気がある。しかし、中にある若者の人間関係は浅い。現代の若者の感性にあった新しい「神サマ」とは「塾頭」タイプかもしれない。記者はふと思った。(つづく)

日本がみえまがが

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1-6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000(11時~13時、17~20時)、ファクス06・3488・99999。

世紀末の神サマ



「あなたを強運にする」と御利益のつまったコスモメイトの本

「三時で鑑定を予約したものですが……」。兵庫県芦屋市にある占い喫茶「あたゝる」。シーパン姿の二十歳代の男性が入ってきた。ニューウエーブの宗教集団、コスモメイトの役員で「スーパー手相鑑定家」西谷泰人さんらが占いと聞き、記者が駆けつけると、約三百人が予約待ちだった。「明るくて楽しく……開運できる」「知らないうちに幸運になる魅力的グッズ」。コスモメイトは、他の教団に比べて、こうした占いや御利益グッズが多い。どこかのセミナー会場でも、グッズに若い女性が殺到していた。

「商売がうまくい人やね」。五年前、コスモメイトのリーダー、深見青山氏に、悪霊を霊界に追い返すという「救霊」を受けた大阪市的女性会社社長（匿名）はその印象をこう表現した。一回三十五万円

神界グッズ

の個人救霊を数回受けたほか、会費やグッズなどでかなりの金額を注いだという。ゆかい、痛快、和気あいあいのトモタチ関係」というコスモメイトだ。そして「神サマ」に近づくと金はかかる。記者は、深見氏の講演ビデオを見ようと、支部に行った。入会金二千元、月会費七百元（準会員）

正会員の場合は二千五百円、当日の玉直し料として二千元。深見氏側近幹部が講演するセミナー参加料（玉直し料）は三千円だ。

付加価値つけビジネス

このほか、折願で病気を治すという九頭龍神法（くすりゅうしんぼう）は、秘法を行う九頭龍師一人につき三万円がいる。十五万円を払えば、五人から同時に秘法が受けられる。九頭龍師三人に連続七日の祈願を受けるとコースもあり、計六十三万円にもなる。

「九頭龍の涙 指輪」「守護霊団合体パワーストーン」「目覚ましクロック プロセスベリテイ」。そんな神界グッズの貴金属類を手がけ

る株式会社「三十鈴」の取締役が、深見氏のもう一つの顔。同社は、今年二学期で三十一億円の売り上げを記録した。パブリック後の不景気のなかで、順調に業績を伸ばす。深見氏は有能な商人で

も。二年前、ある夕刊紙が「五百円のテレカを三千円で売る「神界商法」」などの見出しをつけ、コスモメイトを八回にわたって特集した。「会員向けの秘法は、世間の目にあれずに糾弾されることもない。霊感商法」と決

は、グッズの収益は支部の光熱費用などにあてていると説明している。大阪で開かれた関西ミニセミナー。司会者が一冊の本を取り出した。コスモメイトの教祖的存在、橋カオル女史の書いた「ケーキの料理本だ」。ケーキ作りは、御霊（みたま）磨きに通じるというが、会員はこうした料理本も神に通じる道として読むのだろうか。神という付加価値をつけられ、商品が確実に売れているようだ。

「百年後、明治維新をヒナ型に世界連邦政府ができるので、勝海舟や西郷隆盛のような人材育成を目指す」というコスモメイト。記者には、社会の動きと若者の心をつか

日本がみえきたが

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・8800（11時～17時）、ファクス06・3488・9992。

神や悪魔が生き生きと活躍しているテレビゲームや漫画の世界。子供たちにとって「神サマ」ってなんだろう。記者は、現代の神話づくりの最前線を訪ねた。

一九九八年八月、東京・吉祥寺。平和な街の上空に突然、時空の裂け目ができ、魔物が次々にはい出して人々を襲った。急に暴力を振るい始めた市民たち。そんな時、ある高校生がパソコンの悪魔降臨プログラムを使って悪魔を呼び出し、魔物に立ち向かった……。

今秋発売予定のテレビゲーム「真・女神転生」(アトラス制作)の冒頭シーンだ。プレイヤー自身がゲームの中の主人公を演じながら遊ぶロールプレイングゲーム(RPG)で、女神転生シリーズはそのヒット作の一つだ。

地獄の王、夜の魔神など古今東西、数百種類の神話……

神や悪魔が、ガイア教とメシア教に分かれ闘う。プレイヤーは、主人公の高校生役になってどちらの側と手をつないでもいい。魔物が死に際に問いかける。「私を倒すことがいいと思うのか」。魔物にも守るべき家族や種族がいる。魔物を倒すことは本当に正義なのか、と考えさせられる。

世紀末の神サマ 28



さまざまな魔物が活躍するマンガの世界(©「週刊ヤングジャンプ」連載「孔雀王」から)

新野洋右・アトラス企画課長(三)はいう。「伝えたいのは視点の置き方です。現実の社会でも、立場によって善悪はまる

で違う。神や悪魔を通して人間の真実も理解できる。日本神話やギリシャ神話でも、盗みや浮気もする人間くさい神が登場するのと同じですよ」

ドラゴンクエストはじめ、神や悪魔が数多く登場するファンタジーRPG、小説は今や中高校生を中心に数十万人のファンをもつ。「突然、他人の人生に入り込んだり、神々を数値化して操作できる面白さ。数学と物語を一緒にした楽しさ(ゲームデザイナー、安田均さん)があり、「昔の人

創造主となる子供たち

が神話を勝手に作って楽しんでいたように、子供たちはRPGで自分だけの神話を作る」(ゲーム評論家、多摩豊さん)時代だ。

僧、孔雀(くじやく)。映画にもなった人気漫画「孔雀王」の中で、死霊や吸血鬼などさまざまな魔物を退治する。「見えない世界」を扱った漫画の代表作品だ。

いたニッポン。開発が進み、街が「清潔」になっていくうちに、神も魔物も「闇(やみ)」の世界も表面上どこかに追いやられてしまったようだ。「女神転生」の原作者、西谷史さん(三)はいう。

昨年登場した米国製RPG「シムアース」は二十万本も売れるヒットになった。「神サマ」の立場で生命を進化させ、場

合によっては疫病や核爆発を起こすこともできる、というのが魅力だ。ゲームの世界では、だれでも「最高神」になってもいい。

「情報社会になり、自分の人生さえもわかっている気になっている子供たちにとって、不確実な心の闇が必要です。闇が分かってこそ心が豊かになるのですから」。現代神話の「創造主」たちの話には、説得力があった。子供たちにとって楽しい「物語」の世界で包みこんでくれる人こそ本当の「神サマ」かもしれない。(つづく)

「因陀羅耶莎訶(いんどうらしゃか)! 破アア!」

両手で印を結び、じゅ文を唱える密教の修行(すず)の神がうごめいて

ひのに違和感を感じ、密教の世界に戻ろうと描いた」と説明する。リゾート開発で山を荒らされたと怒る妖怪(よろかい)、空中の殺虫剤や芳香剤が固まった鬼、魔物退治の舞台は学校、高速道路と、ありふれた場所だ。八百万(やおよ)の神がうごめいて

日本がみえまがだ

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪市北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・8800(11時~13時、17~20時)、ファクス06・3488・90002。

高僧が長い修行の果
に到達できる曼陀羅(ま
んだら)の世界。いまで
はエレクトロニクスの発
達で、電気的な刺激をち
よっと脳に与えること
同じような体験ができる
という。「インスタン
ト修行」が可能な時代の「神
サマ」を知りたくて、記
者はバーチャル・リアリ
ティ(VR、仮想現実)
の世界に飛び込んだ。

世紀末の神サマ²⁹



「異界体験をどうぞ」——ゴー
グルをつければ、架空のディス
ニーランドで遊べる—東京都新
宿区の松下電工ショールームで

「ガシャーン」。皿が
割れた。床にぶつかって
砕け散る音がする。蛇口
をひねると水が流れ出
た。十畳ほどのダイニン
グキチンが目の前に広が
っている。松下電工ショ
ールーム(東京都新宿区)
で、記者はNASA(米
航空宇宙局)の開発した
「仮想現実技術」を応用し
た住空間シミュレーショ
ンシステムを体験した。

「いかがですか」。シ
ョールームの職員が架空
のキチンの「中」にいる
記者に声をかけた。楽し
ら設計できるように、と
作られたのだ。

「大霊界のような「お
花畑」にも、曼陀羅の世
界にもお金を払えば、行
ける」となると、ニッポン
の宗教観も大きく変わっ
ていくかもしれない。「人
間の脳に直接、電気的な
刺激を流し、仮想体験を
引き起こすブラグイン
技術」が広がる可能性もあ
る」と月尾嘉男東大教授
(産業機械工学)は予想

ホンからはフルートの音
色とパルス音。目を閉じ
る。突然、赤、青、白の
曼陀羅模様で眼球にさく
裂した。タンチョウが何
羽も舞うような映像が浮
かぶ。気持ち悪い。目を
開ければ、ただの電球だ。
光が網膜に直接働きかけ
て映像を作り、リラックス
スや能力開発に結びつく
という。記者は、いつし

のだろうか。
「完全な現実逃避がで
き、仮想世界でしか生き
られない人間が出てくる
かもしれない」。VRの開
発にあたる野村淳二・松
下電工AI研究室主任技
師は話す。今でも巨費を
投じれば、現実と区別の
つかない仮想体験は可能
で、「人間操作や洗脳に利
用される恐れもある」と

を映すGoogleをかぶれ
グラフィックス(CG)
を映すGoogleをかぶれ

電脳教

ば、視線に応じてCGが
動き、キチンにいる気にな
れる。センサー付きの
手袋をはめると、CGの
中に自分の手の映像が出
てきた。その「手」で戸
棚や引き出しを開け、皿
を割る。あたかも自分が
設計図を書いたキチンに
いるような感覚になり、
家具の配置や高さを体感
できる。客が納得しなが

い、やめられない。体験し
た女性はみんな喜々とし
て制限時間をオーバーす
るほど。奥様のディスプレイ
「ランド」とよばれる楽
しさが確かであった。
VR技術は、ゲームセ
ンターにあるオートバイ
レースなど体感ゲームの
世界でも急速に進歩して
いる。VRで曼陀羅や死
後の世界を味わうのは、
技術的に可能。安らぎを
得るセラピーへの応用も
考えている」とゲーム機
器大手「ナムコ」の太田ま
こと広報センター課長。

膨張する「仮想現実」

する。至福感を起こす神
経を刺激すると、心が変
わるのだろうか。

ブラグインに近いとき
れる「メガ・ブレイン」
(八幡書店製作)。通信
販売されているこの機器
を、記者も体験した。

か眠ってしまった。
「異界や霊体験など宗
教的な通過儀礼は特別な
ものでなくなり、VRな
ど快楽的なメディアが代
替していく」と武臣光裕
日大講師(メディア美学)
は宗教体験の消滅さえも
予言する。テクノロジー
は宗教体験を超えていく
だろうか。(Chuk)

武臣講師は指摘する。
「聖域」であった心の
領域が操作される時代が
来れば、宗教はテクノロ
ジーに解体されるのだろ
うか。記者は軽いめまい
を覚えながら思った。電
脳社会を支配する新しい
「神サマ」も現れるかも
しれない。(Chuk)

日本がみえますが

宗教ホットライン
北区委高1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000(11
13時、17・20時)、ファクス06・3488・00000。

パソコン通信ネットワークに「宇宙神霊」がいると聞いて、記者がアタセスした。

「光よりの光、オリオンの最上の帯としての光より来りて伝える、我が名はアリオオン、炎の天使」

大げさな口上で、宇宙神霊・アリオオンがパソコンの画面に現れた。白く輝くコンピュータ文字が、いかにも神霊と交信している気にさせる。

「私と夫はお金持ちにされるでしょうか。老後はどうなるかしら」。女性の問いに、チャネラー

(霊媒師)の北川恵子さんは、アリオオンのメッセージを次のように伝えた。

「私は占い師ではないが、何のためにお金が必要なのかというビジョンがなければ、実現は困難だ。また、老後は現在の生き方で決まるものであり、自分が決めることなのだよ」

世紀末の神サマ



パソコンに向かうチャネラー、北川恵子さん。「電腦空間」の向こうで若者がメッセージを持つ

ない」「前世を気にするより、今をどう生きるかだ」。繰り返される忠告は、常識的な人生訓だ。「アリオオンは、メッセージをそれぞれの人生に生かしてくれるだけではない」

の印象や容姿などは一切関係ない。口べたや内気でも、ネットに入りやすい。まして「脳と脳の直結」だから、アリオオンの

り、いまではパソコン通信が生活の中心。コンピュータは、人間の指示に完全に従い、出すぎたまねをしないし、手抜きもしない。パソコンがなくなったら、宗教がなくなるより寂しい」
現実世界よりも、プラウン管の中にある現実「にひかれてる。自由自在に世界を動かせるパソコンを前にすれば、「全知全能の神サマ」になった気持ちにもなれる。
新々宗教の中には、パソコン通信に入り込んで、布教活動をするところが増えている。統一教会、幸福の科学、オウム真理教……などの信者が電子会議室に入り込んで、教理を説明したり、イベント案内をしている。

ネットワークが霊媒？

と考えています」と北川さん。

パソコンは、若者にとっては神棚みたいな存在。その画面は、キーボードをたたく若者の心を鏡のように映し出す。

「パソコン通信は、人間の脳と脳のダイレクトな接続。だから、余分な気を使わなくて済みますよ」。アリオオンとの会話を楽しむ大阪のフリーター、俊彦さん(三十九)仮名は、その魅力を話す。パソコン通信では、相手

言葉を「翻訳」する北川さんではなく、アリオオンと直接対話している感覚も得られる。

「パソコンそのものが宗教で、麻薬のような楽しさもある。パソコンに向かう時、自分が神になる。自分が使いやすいよ

シャイで寂しく、心のよりどころを失った現代の若者を吸い込む「電腦空間」。電子メディア時代に生きる「情報民」をめぐって新たな開拓地を

「神サマ」たちがうごめいていた。(つづく)

電算神棚

これは、北川さんが昨年三月、大手のパソコンネットワーク「ニフティ・サーブ」に開いた会議室「アリオン世紀末書き込み寺」での交信模様。書き込み寺には、今年五月から四カ月間の集計だけでも、千九百人近くがアクセスしてきたという。

「うそをついてはいけ

日本がみえますか?

宗教ホットライン ご意見や情報をお寄せください。〒530 大阪府北区堂島1の6の20、毎日新聞宗教取材班。06・3488・88000(11時~13時、17~20時)、ファクス06・3488・90322。

世紀末を迎え、洪水のようにあふれている「神サマ」たち。豊かさの中での不安、神秘・呪術(じゅじゅつ)ブームが広がるニッポンには、海外から「超能力者」たちが次々と訪れている。

「あなたの過去、現在、未来が映像として浮かび上がり、魂の世界へのメッセージを語る」と今年六月、米国ニューヨークから来日した超能力者の親子、ヨラーナ&ロナルド・バードさんら。テレビ、ラジオや出版社がさまざまなプロモーションを仕掛けると、若者からの人生相談が殺到した。

「やりたい仕事が見つからない」「恋人とうまくいかない」。ラジオ局には手紙が三百通、ファクス百本以上。本のサイン会場では三日間で八百人を超える人気。

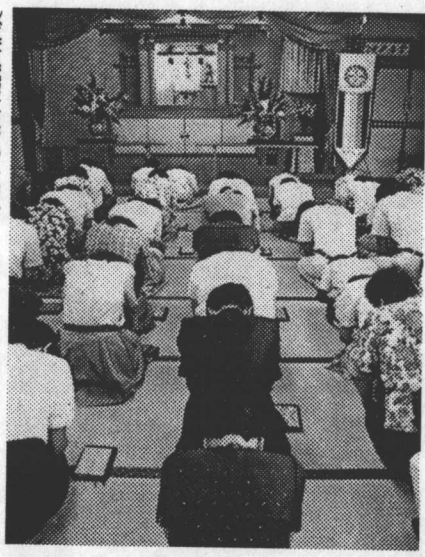
日本に招いたイベント会社社長、白石香澄さん(三十八)はいう。「みんな編

しあわせ産業

(う)飼いの編のように教育され、自分で決められない。答えは自分の中にあり、何をやりたいか、本人は気づいているけれども、自信がなくて、一歩を踏みだせない。その迷いをかきつるまっかけがほしいのです。」

マスコミが仕掛けたインスタントな神々に群がる若者たち。「宗教ア

世紀末の神サマ



「祈り」の向こうに「救い」があるのだろうか―世界真光文教団刈谷道場で

んだ研究報告書の一節が印象に残っている。

「近代産業社会が、物質的な豊かさをもたらす半面、精神的な豊かさを失わせるものだ、といわれる。それが本当なら、世界の経済開発を支援している最大の国である日本は、世界をあげて精神的に貧しい時代に突入す

るためのツアーガイド兼スポンサーになる」研究をまとめたのは通産省のシンクタンク、地球産業文化研究所(東京)。「産業社会の中で精神的な豊かさを実現するのは、日本に生きる私たちに課せられた歴史的

な使命」と河合隼雄・国際日本文化研究センター教授を座長に「幸福観」の研究を重ねている。若手の通産官僚はいう。

「霞が関で働いている若い人の二、三割は自己開発セミナーなどに行っているのではないか。宗教関係の保存は文化庁の担当だけど、人間を身

き生きさせる、宗教を、産業社会の中で考える」と、通産の仕事になる「新々宗教や精神世界への関心が高まり」自分が変われば、世界が変わって見える」とばかりに流行している自己開発セミナー。若者の心は投資

れない。

世紀末の神サマを追っていけば、現実から浮揚していく若者の姿が、そのまま、世界から浮揚するニッポンと重なって見えてくる。生きるよりどころはどこにあるのか。その答えを出すのは「神サマ」でなく、私たち自身であることははっきり

している。(おわり) 宗教ホットラインは終わりました。取材は池田知隆、出口修、山手秀之、香取泰行、斎藤義彦、写真真岸根立真、小座野容斉の各記者が担当しました。

「心の栄養剤」商品化

希薄化し、本やパソコン通信でつながった「神サマ」のほろが、人間よりもつきあいやすいのだから。

そこで語られるのは「自分」「自信」「成功」「幸福」。神サマの言葉はいわば「心の栄養剤」で、神サマもまた次から次へ消費されている。

世界屈指の金持ち国・ニッポン。しかし、そうなる過程で、私たちの心は何を失い、何を得たのか。記者は、取材中に読

日本がみえなかった

明日から、料亭の女将(おかみ)による預金証書偽造で、解体に追い込まれた東洋信用金庫を中心にバブル経済のツメ跡を描く「信金解体」が始まります。